2016年度

事 業 報 告 書

附　　一般会計収支決算書

附　　2017年度事　業　計　画
　　2017年度一般会計予算

一般社団法人 津山青年会議所

一般社団法人　津　山　青　年　会　議　所

第59代理事長　菅　田　拓　平

事　業　報　告　書

戦後の物質的にも精神的にも荒廃していた時、「よりよい社会」を築きあげようと、先人たちの確固たる想いと情熱のもと、日本は奇跡的な復興を遂げました。こういった人の営みに対して自然は時に容赦なく牙をむきます。阪神淡路大震災、東日本大震災という二度の甚大な災害に見舞われた中で表れた、日本人の美徳としている利他の精神を私は忘れません。一方で、悪質な犯罪や変質的な事件を起こす人が絶えません。物質的な豊かさを求め、個々の権利を尊重するあまり、人と人との直接的なつながりが薄れ、興味の無いことには見向きもせず、利己的な考えをもち、社会との関係を失う人が増えているからかもしれません。しかも、私たちの住み暮らす地域は人口減少という問題に直面しています。合計特殊出生率は人口維持に必要な２．０８を下回り、「１８歳の崖」という高校卒業後には約半数の若者が地元から離れてしまう状況です。進学、職業、問題は多岐にわたりますが、この状況は経済活動を停滞させ、将来的な税収の低下につながり、公共サービスの低下となっていきます。また、尖閣諸島、竹島、北方領土といった領土・領海問題、膨らみ続ける社会保障費、人口減少による労働人口の確保といった多くの問題が山積しています。このような中、若者の意見を政治に反映させるために戦後７０年ぶりに公職選挙法が改正され、参政権が１８歳以上に引き下げられました。しかしながら、政治に対する教育は未整備であり、無関心層も多く、ここにおいても問題が山積となっています。

このような中、２０１６年度（一社）津山青年会議所は、自分たちのまちの将来のため、「三感四恩一体感をもち、未来に向かって力強く行動しよう！」というスローガンを掲げ、運動方針として

・感謝を育むひとづくり（謙虚さを忘れず、互いに敬い合い、切磋琢磨し積極果敢に行動しよう）
・感動をつなぐまちづくり（一生懸命な行動から他人の心を動かし、つながりを広げよう）
・感性豊かなＪＣづくり（感性豊かな青年経済人の集う、真に地域に必要とされる団体となろう）

という３つの方針を掲げ一年間皆様とともに「自分たちのまちは自分たちで創る」という気概をもち魅力溢れる津山圏域の創造を目指し運動・活動を展開してまいりました。

２０１６年度は１２名の新会員を加え、鶴山館にて「年初の会」を大晦日から新年を迎える時にメンバーとともに一体感をもち、一年間の運動・活動の成功を祈願しスタートを切りました。１月１９日には「新年懇親会」を開催し、ご来賓の方々、特別会員の方に、２０１６年度の方針と体制を披露し、交

流を深めさせていただきました。

先輩方から受け継いできた「２０２０年の森管理育成」を３月２７日に行いました。そして、２０２０年が近づき、実際に人力で丸太を伐採、搬出、集積、積込、市場に運搬し売却する「運んでみよう！森あげよう！」を５月１５日に開催しました。また、５月２５日に売却の結果や、２０２０年の森の歴史を再確認し、２０２０年に向けて機運を高めました。

参政権が１８歳以上に引き下げられた初めての国政選挙、第２４回衆議院議員通常選挙が７月１０日に投開票されました。報道でも多く取り上げられ、選挙に対する注目度が高まっている中、「地域の未来はみんなの未来　～さあ、みんなで考えよう！～」を７月３日に美作大学１００周年記念館にて開催しました。まず、事前にメンバーで地域の現状を認識し、地域の諸問題を考え、特色を生かしたより良いまちづくりのために意見を出し合い、地域への関心を高めました。そして、当日は就実大学・短期大学副学長杉山慎策氏の講演をお聴きし、模擬選挙を通して、地域の現状と他地域の取組から、自分たちが住みよい地域に暮らすためには自らが考え、行動に移すことが必要であることに気づかされました。

８月６日７日の２日間、第３８回津山納涼ごんごまつりＩＮ吉井川が開催されました。６日のごんごおどり開始前には通り雨があり、開催が危ぶまれましたが、実行委員会の情報収集と判断のもと３０分程度遅れて開始し、全日程が無事開催されました。まつりを通じてのひとづくり、まちづくりを考え、次年度以降へ引き継いでまいります。

８月１９日は「納涼会」を開催しました。特別会員の皆様からのご支援ご協力に対して、感謝の意を込めて「つながりから感謝が生まれ、感謝からつながりが生まれる　～縁～」を津山工業書道部の皆様にパフォーマンスを交えて披露していただきました。また、２０１７年度第６０代理事長予定者鳥越俊之君を紹介させていただきました。

８月２０日から２２日に２泊３日の宿泊型体験事業を大佐山キャンプ場及び周辺で開催いたしました。日常とは異なる環境において、様々な体験をすることで、心と心のつながりを大切にできる思いやりの心を育むことができました。また、子供たちの成長を通して、メンバー自身が多くの気づきを得て成長できたと確信しております。

９月１７日には津山市で生まれ、米国松下電器社長、会長、グローバル戦略研究所長などを歴任された岩谷英昭氏をお招きし「ビジネス研修会　～Ｎｏ　ｃｈａｌｌｅｎｇｅ　Ｎｏ　ｓｕｃｃｅｓｓ～」を開催いたしました。岩谷氏の松下電器入社からの実体験を踏まえた内容やリーダーとしての心構えや今後の世界動向と多岐にわたる講演をいただきました。その中でも情熱とスピード感をもって挑戦すること、実際に行動に移すことの大切さを学び、地域を担う青年経済人として成長の糧となりました。

１０月２２日は（一社）宮古青年会議所の創立５５周年記念式典並びに記念式典が開催され、津山から現役メンバーと特別会員の皆様を合わせて２４名で宮古島を訪れました。

理　事　長　公　職　一　覧

名　　称	役　職	名　　称	役　職
津山市市民憲章推進協議会	副会長	津山納涼ごんごまつり実行委員会	副委員長
津山文化センター運営審議会	副委員長	津山市勤労者総合福祉センター運営委員会	委　員
津山さくらまつり実行委員会	〃	津山環境保全対策推進審議会	〃
津山市観光開発審議会	委　員	津山市ゆとり創造プラン推進協議会	〃
津山市商工業振興対策審議会	〃	空路利用を促進する津山地域の会	副会長
㈶津山文化振興財団	理　事	津山線高速化推進期成同盟会	会　員
津山国際総合音楽祭委員会	監　事	津山サンタフェ友好協会	監　事
津山市社会教育委員会	委　員	津山警察署管内暴力追放推進連合会	委　員
津山市教育相談センター「鶴山塾」運営委員会	〃	津山市社会福祉協議会	評議員
津山市交通安全対策協議会	〃	津山私学教育振興連絡会議	委　員
㈶津山スポーツ振興財団	理　事	津山市社会教育施設整備運営検討委員会	〃
津山市ニューメディア推進会議	委　員	津山市生涯学習推進会議	〃
津山市人権尊重の教育推進協議会	〃	津山市立図書館協議会	〃
津山市人づくり事業運営委員会	〃	津山地域工業化ビジョン検討委員会	〃
津山防衛協会	副会長	津山市空路利用促進協議会	〃
津山地区青少年健全育成連絡会	委　員	津山市青年団体連絡協議会	理　事
津山ガン対策協議会	〃	津山市青少年育成センター運営審議会	委　員
津山観光キャンペーン推進会議	常任委員	津山市行財政改革推進委員会	〃
津山まつり実行委員会	委　員	津山市男女共同参画まちづくり審議会	〃
津山市観光ビジョン推進委員会	〃	㈳津山市観光協会	理　事
津山市情報公開制度運営審議会	〃	第19回全国生涯学習フェスティバル津山市実行委員会	委　員
津山市献血推進委員会	〃	中島病院旧本館保存活用プラン協議会	〃
津山市文化振興事業基金運営委員会	〃	岡山県津山婦人青年の家運営委員会	〃
「社会を明るくする運動」津山市実施委員会	常任委員	津山市手をつなぐ育成会	代議員
津山市体育協会	委　員	特定非営理活動法人つやまＮＰＯ支援センター	理　事
津山市清掃手数料審議会	〃	津山市中心市街地活性化協議会　城下開発特別委員会	委　員
津山市個人情報保護制度運営審議会	〃	津山市産業経済部観光振興課 津山市観光戦略アクションプラン策定委員会	〃
津山市総合計画審議会	〃		
津山市国際化プラン策定審議会	〃		
津山市安全・安心まちづくり推進協議会	〃		

組　　織

1．正　　会　　員

2015年度末会員数	45名
2016年度新加入者数	12名
2016年度中途退会者数	1名
2016年度年限退会者数	13名
2016年度末会員数	43名

会員移動明細

区分	氏　名	勤　務　先	役　職
新加入者	赤本　淳	㈱月の輪建設工業	専務取締役
	石川　久	医療法人　東浩会	理事
	岡田章裕	岡田板金	
	國正啓文	㈲國　正	代表取締役
	黒瀬諭隆	黒瀬ホーム	代表
	鈴木章功	津山農業協同組合	
	豊福祥旗	㈱Original Quchi	取締役
	延原　健	延原司法書士事務所	司法書士
	平岡大樹	㈱山手屋	専務取締役
	松田和也	㈱マ　ル　イ	取締役　丁稚
	矢山香織	㈲のどか宅老所	看護師
	和田優輝	㈱和田デザイン事務所	代表取締役

2016年度年限退会者

区分	氏　名	勤　務　先	役　職	月
年限退会者	秋田義徳	山陽ロード工業㈱	専務取締役	
	有本紳介	㈱オォーレック	常務取締役	
	池田裕也	ジブラルタ生命保険㈱岡山支社津山営業所		
	石原雅志	㈱サインアート	専務取締役	
	植月達也	㈲室内装飾うえつき	常務取締役	
	奥田考弘	美作マツダ自動車㈱	部長	
	菅田拓平	菅　田㈱	代表取締役社長	
	岸本陽平	㈱岸本鉄工所	鋳造部部長	
	土居大介	㈲住吉木材工業	代表取締役社長	
	中川洋平	㈱フィット	取締役専務	
	長谷川毅	㈱長谷川硝子店	代表取締役	
	龍門慶輝	㈲龍門酒店		
	脇　優太	㈱脇木工　momo natural	代表取締役	

2016年度退会者

尾島佑輔	津山信用金庫	12月

2. 特別会員　2016年度末会員数　　403名

2016年度　理事・役員名簿

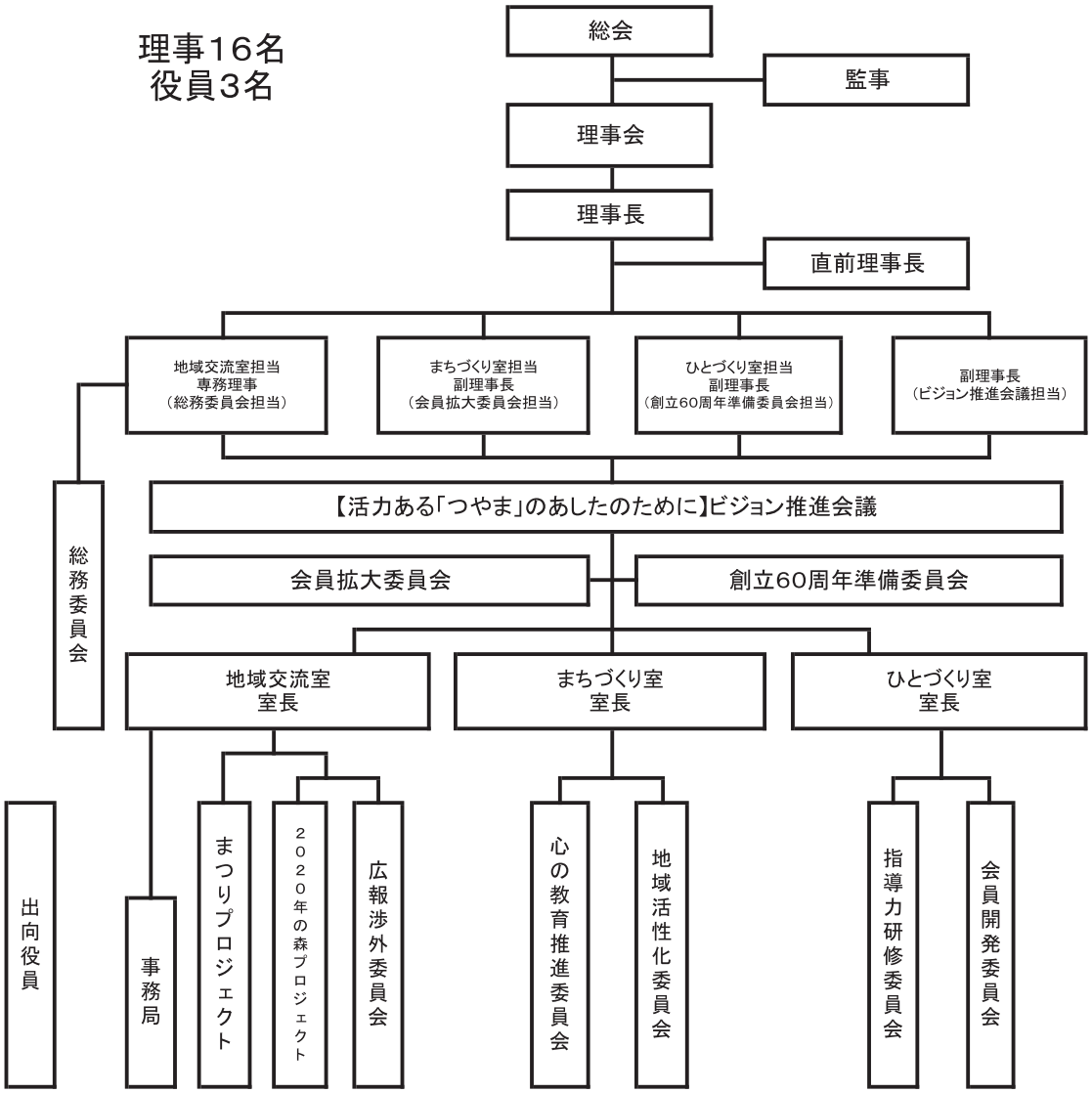
理事長	菅田拓平	
直前理事長	河原　淳	
副理事長	鳥越俊之	（【活力ある「つやま」のあしたのために】ビジョン推進会議 議長） （日本青年会議所ＪＣプログラム実践委員会 委員）
副理事長	須江庸司	（創立６０周年準備委員会　委員長）（(公社)日本青年会議所　憲法意識確立委員会） （岡山ブロック協議会　国家意識醸成委員会　委員長）
副理事長	有本紳介	（会員拡大委員会　委員長）（全国城下町青年会議所連絡協議会　理事） （岡山ブロック協議会　心あるリーダー増強委員会　委員）
専務理事	福田邦夫	（総務委員会　委員長）
ひとづくり室　室長	橋本安弘	（中国地区協議会　運営専務）（(公社)日本青年会議所　全国大会運営会議　議員） （津山市民憲章推進協議会 事務局長）
まちづくり室　室長	山本俊輔	（鶴山を考える会） （岡山ブロック協議会　国家意識醸成委員会　委員長幹事）
地域交流室　室長	植月達也	（特定非営利団体つやまＮＰＯ支援センター）
まつりプロジェクト　キャプテン	小笠原翔太	（(公社）日本青年会議所　全国大会運営会議　議員）
会員開発委員会　委員長	片山英之	
指導力研修委員会　委員長	田邊久人	
地域活性化委員会　委員長	片田恭裕	
心の教育推進委員会　委員長	流郷知寛	
広報渉外委員会　委員長	福島邦洋	
2020年の森プロジェクト　キャプテン	秋田義徳	

出向役員	土居大介	（中国地区協議会　会計監査人） （(公社)日本青年会議所　内部監査人グループ　中国地区代表）
監事	長谷川　毅	
監事	脇　優太	

（常任オブザーバー）

日本青年会議所	金田長一郎	（全国大会運営会議　議員）
日本青年会議所	廣田　勤	（全国大会運営会議　議員）
日本青年会議所	森山裕一	（ＪＣプログラム実践委員会　委員）
中国地区協議会	中川洋平	（５４LOMをつなげる委員会）
中国地区協議会	河野雅樹	（地域再興委員会　委員）
岡山ブロック協議会	小林諭卓	（総務・全国大会連絡会議　委員）
岡山ブロック協議会	眞木祐治	（心あるリーダー増強委員会　副委員長）
岡山ブロック協議会	松本宏光	（心あるリーダー増強委員会　委員）
岡山ブロック協議会	森元　宏	（地域の心醸成委員会　委員）
岡山ブロック協議会	岸本陽平	（国家意識醸成委員会　委員長幹事）
岡山ブロック協議会	勝山和昭	（国家意識醸成委員会　委員長幹事）
岡山ブロック協議会	石原雅志	（国家意識醸成委員会　委員）

一般社団法人　津山青年会議所　2016年度組織図



室担当首長を副理事長とし、担当者（室長）1名を配置する。
ビジョン推進会議議長は議長1名（副理事長）副議長1名（専務理事）が兼務する

2016年度（一社)津山青年会議所 所属表

理事長	直前理事長	副理事長(推進会議 議長)	副理事長(ひとづくり室 担当)	副理事長(まちづくり室 担当)	監事	監事	出向役員
菅田 拓平	河原 淳	鳥越 俊之	須江 庸司	有本 紳介	長谷川 毅	脇 優太	土居 大介

専務理事(地域交流室 担当) 福田 邦夫	総務委員会	委員長 福田 邦夫	副委員長 河原 淳	幹事 植月 達也	委員	菅田 鳥越 須江 有本 橋本 山本(俊)
創立60周年準備委員会		委員長 須江 庸司	副委員長 河野 雅樹	幹事 小笠原 翔太	委員	河原 鳥越 有本 橋本 山本(俊) 植月 片山 田邊 片田 流郷 福島 秋田
会員拡大委員会		委員長 有本 紳介	副委員長 福田 邦夫	幹事 岸本 陽平	委員	河原 片山 田邊 片田 流郷 福島 小笠原 秋田
ひとづくり室	室長 橋本 安弘	会員開発委員会	理事・委員長 片山 英之	副委員長 森山 裕一	幹事 井上 高志	委員 池田 末澤 山本(竜) 保田 尾島 黒瀬(諭) 矢山
		指導力研修委員会	理事・委員長 田邊 久人	副委員長 眞木 祐治	幹事 藪木 健之	委員 北村 石原 西村(明) 村上 延原 赤本 石川
まちづくり室	室長 山本 俊輔	地域活性化委員会	理事・委員長 片田 恭裕	副委員長 森元 宏	幹事 早瀬 久善	委員 龍門 岸本 松本 國正 豊福 鈴木
		心の教育推進委員会	理事・委員長 流郷 知寛	副委員長 西村 憲明	幹事 黒瀬 光康	委員 奥田 金田 河野 廣田 松田 平岡
地域交流室	室長 植月 達也	広報渉外委員会	理事・委員長 福島 邦洋	副委員長 小林 諭卓	幹事 勝山 和昭	委員 中川 小笠原 秋田 和田 岡田
		まつりプロジェクト	理事・キャプテン 小笠原 翔太	副キャプテン 金田 長一郎	幹事 尾島 佑輔	プロジェクトメンバー 長谷川 岸本 河野 奥田 廣田 石原 早瀬 松本 藪木 黒瀬(諭) 矢山 延原 赤本 石川 國正 豊福 鈴木 松田 平岡 和田 岡田
		2020年の森プロジェクト	理事・キャプテン 秋田 義徳	副キャプテン 村上 卓也	幹事 石原 雅志	プロジェクトメンバー 奥田 早瀬 西村(明) 井上 森元 勝山

出向	(公社)日本青年会議所 中国地区代表 土居	内部会計監査人グループ	憲法意思確立委員会 委員 須江	JCプログラム実践委員会 委員 鳥越 森山	全国大会運営会議 議員 橋本 小笠原 廣田 金田	中国地区協議会	運営専務 会計監査人 橋本 土居	地域再興委員会 委員 河野	54LOMをつなげる委員会 委員 中川
	岡山ブロック協議会	総務・全国大会連絡会議 議員 小林	心あるリーダー増強委員会 副委員長 眞木	委員 有本 松本	地域の心醸成委員会 委員 森元	国家意識醸成委員会 委員長 須江	委員長幹事 岸本 山本 勝山	委員 石原	全国城下町青年会議所連絡協議会 理事 有本
	津山市市民憲章推進協議会	副会長 菅田	事務局長 橋本	副事務局長 長谷川	事務局員 片山 田邊 片田 流郷 福島				

一般社団法人 津山青年会議所
〒708－0022
岡山県津山市山下30－9
TEL:(0868)22－6713
FAX:(0868)25－1415

2016年度　事　業　報　告

◎総会例会

月　日	内　　容	会　　場
1月19日	1月例会・定時総会 定時総会議案 ○第１号議案　（一社）津山青年会議所定款変更一部変更の件（案）について ○第２号議案　２０１６年度補正予算（案）について ○第３号議案　２０１７年度理事・役員承認について ○第４号議案　２０１７年度事業計画（案）について ○第５号議案　２０１７年度予算（案）について	津山国際ホテル
2月19日	2月例会 ひとづくり室によるアワー	津山国際ホテル
3月19日	3月例会・臨時総会 臨時総会議案 ○第１号議案　２０１５年度事業報告書（案）並びに決算書（案）について ○第２号議案　２０１６年度予算一部 修正にいて ひとづくり室によるアワー	津山国際ホテル
4月19日	4月例会	津山国際ホテル
5月19日	5月例会	津山国際ホテル
6月19日	6月例会・臨時総会 臨時総会議案 ○次年度理事選考委員選出について申し合わせ事項の確認 ○第1号議案　　次年度理事選考委員の選出について 会員開発委員会によるアワー	津山国際ホテル
7月19日	7月例会・臨時総会 臨時総会議案 ○第1号議案　　次年度理事長選出について まつりプロジェクトによるアワー 心の教育推進委員会によるアワー	津山国際ホテル
8月19日	8月例会	津山国際ホテル
9月19日	9月例会 指導力研修委員会によるアワー	津山国際ホテル
10月19日	10月例会 指導力研修委員会によるアワー	津山国際ホテル
11月19日	11月例会 指導力研修委員会によるアワー	津山国際ホテル
12月19日	12月例会・定時総会 定時総会議案 ○第１号議案　　２０１５年度事業報告書（案）並びに決算書（案）について ○第２号議案　　２０１６年度予算一部修正について	津山国際ホテル

◎理　事　会

月　日	内　　容	会　　場
1月９日	審議事項 １）３月例会日程変更の件 ２）２０２０年の森の管理・育成に関する事業計画書（案）及び事業収支予算書（案）について	津山商工会館議員室
1月19日	審議事項 １）２０１７年度予算一部　修正について	津山国際ホテル
2月９日	審議事 １）会員開発に関する事業報告書（案）及び事業収支決算書（案）について	津山商工会館議員室
3月９日	審議事項 １）会員相互の友愛親睦及び体育厚生に関する事業計画書（案）及び事業収支補正予算書（案）について ２）会員相互の友愛親睦及び体育厚生に関する事業報告書（案）及び事業収支補正決算書（案）について ３）２０２０年の２０２０年にむけての調査研究及び企画の推進に関する事業計画書（案）及び事業収支予算書（案）について	津山商工会館議員室
3月14日	審議事項 １）２０１５年度　青少年健全育成に関する事業報告書及び事業収支決算書一部修正について	津山商工会館 第5会議室
4月９日	協議事項 １）地域活性化のための諸問題の調査研究及び事業の推進に関する事業計画書（案）及び事業収支予算書（案）について	津山商工会館議員室
4月26日	報告事項 １）熊本地震復旧支援について	JAあしん生活センター会議室
5月９日	審議事項 １）２０２０年の森の管理・育成に関する事業報告書（案）及び事業収支決算書（案）について ２）８月例会開催時間変更の件について ３）会員相互の友愛親睦及び体育厚生に関する事業計画書（案）及び事業収支予算書（案）について ４）６月例会開催時間変更の件について 協議事項 １）地域活性化のための諸問題の調査研究及び事業の推進に関する事業計画書（案）及び事業収支予算書（案）について ２）青少年、教育の諸問題の調査研究及び事業の推進に関する事業計画書（案）及び事業収支予算書（案）について	津山商工会館議員室
6月9日	審議事項 １）地域活性化のための諸問題の調査研究及び事業の推進に関する事業計画書（案）及び事業収支予算書（案）について ２）青少年、教育の諸問題の調査研究及び事業の推進に関する事業計画書（案）及び事業収支予算書（案）について	津山商工会館議員室
7月９日	審議事項 １）新会員研修会（導入編）新会員に関する事項に関する事業計画書（案）及び事業収支補正予算書（案）について ２）新会員研修会（導入編）新会員に関する事項に関する事業報告書（案）及び事業収支決算書（案）について ３）２０２０年の森の２０２０年にむけての事業計画書（案）及び事業収支補正予算書（案）について ４）２０２０年の森の２０２０年にむけての事業報告書（案）及び事業収支決算書（案）について ５）新会員研修会（研修編）新会員に関する事項に関する事業計画書（案）及び事業収支予算書（案）について ６）青年経済人としての会員の研修及び開発の推進に関する事業計画書（案）及び事業収支予算書（案）について ７）青少年教育の諸問題の調査研究及び事業の推進に関する修正事業計画書（案）及び事業収支予算書（案）について	津山商工会館議員室

月　日	内　　容	会　　場
8月9日	審議事項 1）１２月例会開催時間変更の件について 2）望年会　会員相互の友愛親睦及び体育厚生に関する事業計画書（案）及び事業収支予算書（案）について 3）望年会　会員及び委員会の表彰具申に関する事業計画書（案）及び事業収支予算書（案）について 協議事項 1）会員の指導力に関する調査研究及び研修等による開発・推進に関する事業計画書（案）及び事業収支予算書（案）について 2）歴史・伝統・文化を中心とした地域の発展に関する事業の推進に関する事業計画書（案）及び事業収支予算書（案）について	津山商工会館議員室
9月12日	審議事項 1）創立６０周年スローガンの件（案）について	津山商工会館議員室
10月11日	審議事項 1）会員相互の友愛親睦及び体育厚生に関する事業計画書（案）及び事業収支補正予算書（案）について 2）会員相互の友愛親睦及び体育厚生に関する事業報告書（案）及び事業収支補正決算書（案）について 3）新会員に関する事業報告書（案）及び事業収支決算書（案）について 4）地域活性化のための諸問題の調査研究及び事業の推進に関する事業計画書（案）及び事業収支予算書（案）について 協議事項 5）地域活性化のための諸問題の調査研究及び事業の推進に関する事業報告書（案）及び事業収支決算書（案）について	津山商工会館会議室
11月9日	審議事項 1）新会員研修会（研修編）　新会員に関する事項に関する事業報告書（案）及び事業収支決算書（案）について 2）青年経済人としての会員の研修及び開発の推進に関する事業報告書（案）及び事業収支決算書（案）について 3）地域活性化のための諸問題の調査研究及び事業の推進に関する事業報告書（案）及び事業収支決算書（案）について 4）青少年、教育の諸問題の調査研究及び事業の推進に関する修正事業計画書（案）及び事業収支補正予算書（案）について 協議事項 1）青少年、教育の諸問題の調査研究及び事業の推進に関する事業報告書（案）及び事業収支決算書（案）について	津山商工会館会議室
11月19日	審議事項 1）２０１５年度事業報告書（案）並びに決算書（案）について 2）青少年、教育の諸問題の調査研究及び事業の推進に関する事業報告書（案）及び事業収支決算書（案）について	津山国際ホテル
12月19日	審議事項 1）２０１７年度（一社）津山青年会議所新会員承認について 2）２０１７年度（一社）津山青年会議所特別会員承認（案）について 3）尾島佑輔君退会の件について 4）２０１６年度（一社）津山青年会議所補正予算書（案）承認について 5）２０１７年度（一社）津山青年会議所事業計画（案）承認について 6）２０１７年度（一社）津山青年会議所予算書（案）承認について 7）創立６０周年記念式典及び祝賀会の企画・運営、並びに創立６０周年記念事業の統括管理に関する事業計画書(案)及び事業収支予算書(案)について 8）創立６０周年実行委員会への参画に関する事業計画書（案）及び事業収支予算書（案）について 9）新会員研修に関する事項に関する事業計画書（案）及び事業収支予算書（案）について（導入編） 10）会員開発に関する事項に関する事業計画書（案）及び事業収支予算書（案）について（迎春の会） 11）１月例会開催時間変更の件（案）について 12）会員相互の友愛親睦及び体育厚生に関する事業計画書（案）及び事業収支予算書（案）について（新年懇親会） 13）新会員研修に関する事項に関する事業計画書（案）及び事業収支予算書（案）について（研修編）	津山商工会館議員室

2016年度　報　告　書

直前理事長　河　原　　淳

余念なく、何が本気で本当の本物かを見極めることに徹した一年でした。在籍年数と内外で得ることができた経験を存分に、あらゆるケースに活かせるよう、応用できるように小さな脳みそをフルに回転させながら、若いメンバーとともに過ごさせていただきました。今振り返ればあっという間の一年間でした。私に対して、「このぐらいでええかな…？」というところを非常に厳しく指導し、「このぐらいじゃいけんな…!!」というところを以外に簡潔に済ませてしまうといった印象を受けたメンバーも多くいたことだと思います。それは全て、何を目的として、何が最優先で、あるいはどういったことが最大公約数であるか、落としどころや折衷案は何か？というマインドで様々な事象を捉えて、意見や提案を行っていたからです。運動や活動を加速化するため、より少ない時間で、より多くのこと、あるいはより深くのことを実施、推進できるよう指導ばかりではなく、体現を通して伝えようとしておりました。今後も津山JCメンバーは自分に怯まず、時間に呑まれず、時代に打ち勝っていく組織、団体の運営を心掛けて邁進して行っていただきますようお願いを合わせ、本年の直前理事長としての御礼とさせていただきます。一年間本当にありがとうございました。楽しかったです。

副理事長
[活力ある「つやま」のあしたのために]ビジョン推進会議　議長
鳥　越　俊　之

本年度、菅田理事長より副理事長にご指名をいただき、ビジョン推進会議議長を兼務させていただきました。（一社）津山青年会議所の掲げる中期ビジョンと各事業計画における想いについて深く学びをいただく一年でありました。会議運営においても、厳しさの中にも議長としてのやりがいを感じ、楽しく実りある一年であったように感じております。また（公社）日本青年会議所ＪＣプログラム実践委員会に出向させていただき、野球部の監督も務めさせていただきました。多くのメンバーと感謝と感動を分かち合えたと思います。感謝・感動・感性を大切に、多くの方に恩を感じさせていただきながら「三感四恩　一体感をもち、未来に向かって力強く行動しよう！」と菅田理事長のスローガンのもと、一年間活動をさせていただきました。次年度は理事長という役職を仰せつかり、これまでの経験を活かし全力で運動・活動に邁進いたします。一年間本当にありがとうございました。

副理事長
創立６０周年準備委員会　委員長
岡山ブロック協議会　国家意識醸成委員会　委員長
須　江　庸　司

本年度は、副理事長として創立６０周年準備委員会の委員長を務めさせていただきました。来年迎える創立６０周年に向けて、現役メンバーが周年の意義や取り組む姿勢などを共有していくために、第５０代理事長を務められた山形誠先輩をお招きし「創立６０周年に向けて」という演題で講演をしていただきました。

また、創立６０周年に向けて現役メンバーの想いを一つにしていくスローガンを、先輩方が６０年間築き上げてこられた歴史・伝統・信頼に感謝し、今後も感動的なまちづくりを積み重ねていくという想いを込めて、「感歴～６０年間の歴史への感謝と、感動的な歴史の創造～」と掲げさせていただきました。そして、創立６０周年ロゴマークの作製を津山工業高等学校デザイン科に依頼し、生徒の皆様に多くの素晴らしいロゴマークを考えていただいた中から津山青年会議所の創立６０周年に相応しいロゴマークを選出しました。

本年の創立６０周年準備委員会の様々な活動を通じて、次年度に向けて弾みをつけられたと感じており、全メンバーの力を結集した創立６０周年を迎える所存です。

また、岡山ブロック協議会では国家意識醸成員会の委員長として出向させていただきました。岡山ブロック協議会内の多くのメンバーのお力添えのもと「いいね！みんなの未来～若者×選挙＝心ある岡山の創造へ～」と「全国一斉！国民投票シミュレーション！私たちの意思を示そう！」を開催させていただき、政治や憲法について当事者意識を醸成する運動を展開しました。

ＬＯＭ内外で貴重な経験をさせていただいたのも、皆様にお力添えいただいたことに他ならないと改めて感じており、心から感謝申し上げます。

副理事長
会員拡大委員会　委員長
全国城下町青年会議所連絡協議会　理事
有　本　紳　介

本年度、菅田理事長より、副理事長、会員拡大委員長、全国城下町青年会議所連絡協議会理事という大役をいただき、責任の重さを感じながら充実した一年を過ごすことができました。会員拡大では皆さまからお力をお借りしながら入会対象者のリストアップを行ないましたが、目標とする会員拡大数には及ばず反省しております。また全国城下町シンポジウム彦根大会において２０１５年度小笠原委員長率いる城下町つやま未来創造委員会の「情熱！！津山城かるた」がアワードを受賞し、津山JCの勢いを全国に発信することができました。最後になりましたが、１１年間に渡りお世話になった皆さま方に本当に感謝しております。ありがとうございました。

専務理事
総務委員会委員長
福　田　邦　夫

本年度、三感四恩のスローガンのもと、専務理事として一年間務めさせていただきました。振り返ってみるとスケジュール管理からはじまり、大変忙しい役職でありましたが、なんとか無事に一年間務めることができたのもメンバーの皆さまの支援があったからこそです。総務委員会では、熊本地震への支援も行いました。本当に充実した一年でありましたが、これからは本年受けた恩を少しづつ返していけたらと考えております。一年間ありがとうございました。

月　日	事　　業　・　行　　事	月　日	事　　業　・　行　　事
1月1日	年初の会	7月29日	サッカー部団結式
1月14日	岡山JC新年賀詞交歓会	7月30日	松江水郷祭
1月15日	津山JC・OB総会	7月31日	松江水郷祭
1月19日	例会・新年懇親会	8月4日	心つながる夏のキャンプ！〜心の手と手をつなごう〜　サポーター研修会
1月21日	京都会議・友好JC交流会議		
1月22日	京都会議・会員会議所会議（京都）	8月6日	津山納涼ごんごまつり
1月23日	京都会議・宮古JC歓迎会	8月7日	津山納涼ごんごまつり
1月30日	会員会議所会議（児島）	8月11日	心つながる夏のキャンプ！〜心の手と手をつなごう〜　団結式
2月19日	例会		
2月24月	県北4JC役員会議（真庭）	8月19日	例会・納涼会
3月10日	岡山ブロックじゃがいもキャプテン会議	8月20日	心つながる夏のキャンプ！〜心の手と手をつなごう〜
3月18日	例会		
3月19日	岡山ブロック新会員研修会	8月21日	心つながる夏のキャンプ！〜心の手と手をつなごう〜
3月22日	県北4JC役員会議（新見）		
3月25日	総会	8月22日	心つながる夏のキャンプ！〜心の手と手をつなごう〜
3月27日	２０２０年の森　管理・育成		
4月3日	玉島JC６０周年	8月27日	全国大会広島大会　決起集会
4月5日	岡山ブロック役員会議（津山）	9月3日	新会員研修会（研修編）
4月19日	例会	9月17日	ビジネス研修会
4月26日	県北4JC合同例会（新見）	9月19日	例会・ブロックアカデミー
4月28日	会頭公式訪問（津山）	9月23日	役員会議・会員会議所会議（西大寺）
4月30日	会員会議所会議（新見）	9月29日	県北4JCじゃがいも大会
5月8日	いいね！みんなの未来〜若者×選挙＝心ある岡山の創造へ〜	10月6日	全国大会
		10月7日	全国大会
5月12日	岡山ブロックじゃがいも大会	10月8日	全国大会
5月15日	運んでみよう！森あげよう！	10月9日	全国大会
5月19日	例会	10月13日	岡山JC・津山JC交歓会
5月20日	全国城下町シンポジウム	10月19日	例会
5月21日	全国城下町シンポジウム	11月13日	OB会ゴルフコンペ並びに追い出しコンペ
5月22日	全国城下町シンポジウム	11月19日	例会
5月25日	運んでみよう！森あげよう！	11月29日	会員会議所会議（岡山）・岡山ブロック本次年度引継ぎ式
5月26日	YEG・JC交流会		
5月28日	会員会議所会議（総社）	12月3日	中国地区第三回会員会議所会議
5月29日	「がんばろう熊本　確かな一歩を踏み出そう」チャリティーバザー	12月5日	指導力研修委員会・拡大委員会
		12月19日	例会・望年会
6月18日	中国地区コンファレンス（岩国）		
6月19日	例会		
7月1日	児島JC６０周年・ごんご祭りプレ1カ月イベント		
7月2日	地域の未来はみんなの未来〜さあ、みんなで考えよう！〜		
7月14日	県北4JC役員会議（美作）		
7月16日	サマーコンファレンス		
7月17日	サマーコンファレンス		
7月19日	例会		

ひとづくり室

室長　橋　本　安　弘

■事業報告

２０１６年度、ひとづくり室　室長として片山委員長率いる会員開発委員会メンバー、田邊委員長率いる指導力研修委員会メンバーの皆様と共に、とても充実した一年間を過ごすことが出来ました。また、公益社団法人日本青年会議所　中国地区協議会　運営専務として地区の会議の運営や議案の準備、委員会間の調整、日本青年会議所の各種事業・委員会等との連絡・調整をさせていただきました。「共感からつながる中国の実現」を掲げ、ＬＯＭとＬＯＭが共感でつながり、地域と地域のつながりとなることで「心」ある国　日本の実現に向けて邁進しました。中国地区内５４ＬＯＭの新たなつながりが地域間のつながりへと発展することで、個々の地域資源が更なる価値をもち、全国へ、世界へと力強く発信出来ると思います。新たなつながりをつくるために、多くの出会いの場を創出することに尽力し、地区コンファレンスでは発信だけでなく、ブロックの垣根を越えたつながりを創る場を設け、各種大会の時は積極的に地区ナイトも開催しました。人のつながりが強くなり、地区が一丸となったことで、有事の際に迅速な被災地への支援を行え、また全国大会広島大会も５３ＬＯＭが副主幹としてまとまり、大会の大成功に寄与しました。出向者の少ない中国地区で、今年度の出会いが将来大きく実を結んでいくものと確信しております。本年度、ＬＯＭ内外多くの皆様より多大なるご理解ご協力をいただきました。心から感謝を申し上げます。一年間本当にありがとうございました。

□決算報告

会議費	0
	0

まちづくり室

室長 山本俊輔

■事業報告

青年会議所入会５年目にしてまちづくり室室長という役職を任せていただき、非常に学びの多い一年となりました。まず「鶴山を考える会」においては、本年度は事務局員として参画させていただき、多くの先輩方が所属する会の中で、これまでとは違った角度から津山城について学ぶことができました。そうした中で、津山城が多くの市民の心に根付いた郷土を誇るかけがえのないものであることを改めて学ぶことができました。「天守再建」や「城郭整備」との声がまちに広がってから何年もたちますが、ベクトルを同じくする者たちが集い、それぞれが住み暮らす地域に対して行動することが継続されてきたことで、郷土愛が広がり、またさらに伝播していくものと思います。また、中心市街地活性化協議会においては、ワーキンググループを設置し、有識者を集め、城下地区のビジョンについて考え、より良いまちづくりへと導くべく意見を創出しました。多くの方が津山に訪れる観光のまちとしての在り方も、より良い活路が見出されるものと期待しています。そして、まちづくり室として、担当する片田委員長率いる地域活性化委員会、流郷委員長率いる心の教育推進委員会のメンバーをより良い一年となるべく「輪」をもって導いていきたいと思い、「年初の会」において、私は「輪」という一字を書かせていただきました。しかしながら、悪戦苦闘する日々の中で、菅田理事長をはじめ、理事・役員の方に「輪」をもって私自身を導いていただきました。青年会議所の運動・活動において、事業を開催することで分かち合える感動は何事にも代えられないものがありますが、多くのメンバーに心の支えになっていただいたことで、心のつながりを感じることができました。今年一年、両委員長とともに、まちづくりを学び、汗と涙を流すことで、青年会議所メンバーとして成長できたのではないかと思います。そして、メンバーとの心のつながりをもって、人として成長することができたのではないかと感じています。二人の委員長にとっては、頼りない室長であったと思いますが、両委員会が一年間しっかりと役職を終えられたことを誇りに感じています。

最後に、多くの特別会員、そして現役会員の皆様のお力添えに心から感謝し、本年度まちづくり室室長としての役職を終えたいと思います。本当にありがとうございました。

□決算報告

会議費	0
	0

地域交流室

室長 植月達也

■事業報告

本年度、地域交流室では（一社）津山青年会議所の５８年間培われてきた歴史・伝統・信頼とともにつないできたネットワークを生かし私たちの住み暮らす地域と交流を行い、２０年後の活力ある「つやま」へ向かって力強く運動・活動に邁進するために1年間取り組んで参りました。

まつりプロジェクトでは第３８回津山納涼ごんごまつりＩＮ吉井川へ参画し、市民参加型のまつりとして更なる発展を目指して活動を行い、津山まつりでは徳守神社、大隅神社の御神輿巡幸に1年間の感謝の気持ちと共に携わり、地域との交流を行うことができました。

広報渉外委員会では対内誌「あした」の発行、ＪＣニュースの更新を通じて現役メンバー以外の方へも（一社）津山青年会議所の運動・活動への理解をより深めていただきました。また、渉外活動を通じて、メンバーに自ら積極的に学び、成長できる機会を提供することができました。

２０２０年の森プロジェクトでは、「２０２０年の森の管理・育成事業」を開催させていただき、メンバーがメンバー同士や先輩方との共同作業、交流を通じて２０２０年の森の歴史・伝統・信頼、そして想いや情熱を継承することで、２０２０年の森への愛着を深め、次代に繋げることができました。さらに６年後の２０２０年を視野にいれた事業である「運んでみよう！森あげよう！」開催させていただき、（一社）津山青年会議所メンバーが２０２０年にむけての見識を深めることを通じて、地域の発展に寄与する想いを強くし、挑戦する気持ちを持ち、２０２０年にむけて（一社）津山青年会議所メンバーの２０２０年の森への気運を高めることができました。

また、つやまＮＰＯ支援センターに出向させていただき、市民活動やボランティア団体のネットワークを構築しながら、相談及び支援事業を行うこと、また新たな団体の結成や育成について学ばせていただきました。

地域交流室室長としてプロジェクト・委員会の指導を行うなかで私自身、多くの気づきや学びをいただきました。室の運営が滞る時もありましたが、多くのメンバーに支えられて最後までやり遂げることができたと感じております。１年間、誠にありがとうございました。

□決算報告

対外誌「あした」	３４６，５００
会議費	0
	３４６，５００

まつりプロジェクト

キャプテン　小笠原　翔　太

■事業報告

本年度、まつりプロジェクトでは５８年間の歴史・伝統・信頼をしっかりと継承し、活力ある「つやま」の未来へ向けて力強く歩みを進めていくために、２４名のメンバーでまつりを通じたまちづくりの夢を追いかけ一年間邁進してまいりました。

８月６日、７日に開催された第３８回津山納涼ごんごまつりIN吉井川では企画部会長を務めさせていただき、分科会を再編しておどり分科会、イベント分科会、ステージ分科会、ＰＲ・環境分科会、資金・ロケーション分科会の５つの分科会を設けました。そしておどり分科会チーフ河野雅樹君、イベント分科会サブチーフ石原雅志君、資金・ロケーション分科会チーフ薮木健之君、ステージ分科会責任者廣田勤君、ＰＲ・環境分科会責任者松本宏光君を中心に、「よみがえれ川の魂」というメインテーマのもと、創始の想いを継承し、参加する一人ひとりがまつりの主人公となることで創り上げられる市民総参加型のまつりとして更なる発展を目指すという基本方針のもと数多くの企画を実施いたしました。２９組２９００名を超える参加者によるごんごおどり、創作おどりや津山ごんごフェス等の多彩なステージング、想いを持って生み出され、本年で５年目を迎える和っしょい！津山によるパレードを、和っしょい！津山実行委員会との合同プログラムとしてソシオ一番街にて実施し、ごんごパーク（縁日ごんご）では、ずぶぬれごんごや射的などを通じて多くの子供達の笑顔を集めることが出来ました。ラストは世界花火競技会優勝の花火師による日本トップクラスの技術と日本の伝統的な和火のコラボレーション、さらに県北初のグラデーション花火など津山でしか見られない花火プログラムにて皆様の記憶に残るフィナーレを迎えることが出来ました。まつりに携わる人と人、そして過去と現在をつなげる懸け橋となることで創り上げた２日間は、約１１万５千人という本当に多くの市民の皆様に楽しんでいただくことが出来ました。

そして秋に開催されました津山まつりでは先輩方が築いてこられた歴史・伝統を継承し、大隅神社と徳守神社の御神輿を多くのメンバーと共に力を合わせて担ぐことで、その歴史に新たな１ページを刻むことが出来ました。

最後になりますが多くの皆様にご協力をいただき、無事一年間を終了することが出来ましたことに心より感謝申し上げます。一年間本当にありがとうございました。

□決算報告

会議費	0
	0

会員開発委員会

委員長 片　山　英　之

■事業報告

１．月例会の企画・運営統括及び通知の発行
２．会員開発に関する事項
イ）年初の会の実施　２０１６年１月１日
３．会員及び委員会の表彰具申
イ）卒業式の実施　２０１６年１２月１９日
４．会員相互の友愛親睦及び体育厚生
イ）新年懇親会の実施　２０１６年１月１９日
ロ）納涼会の実施　２０１６年８月１９日
ハ）望年会の実施　２０１６年１２月１９日

本年度、会員開発委員会として、菅田理事長のスローガン「三感四恩　～一体感をもち、未来に向かって力強く行動しよう！～」をもとに、委員会スローガンを「つながり」とし、①ひととのつながり（会員同士や特別会員との交流を大切にすること）と、②機会とのつながり（会員の資質向上を目指し、設営すること）を目標にかかげ、一年間邁進してきました。１月１日の年初の会では、会員一人ひとりが一年間の目標を掲げ書初めを行い、ＪＣ運動・活動に邁進していただくために三感四恩パネルを作成し例会会場に掲げました。活動の根幹でもある例会では、菅田理事長のもと一体感をもち、委員会やプロジェクトの事業への相互理解を深めることができました。また、６月例会後の懇親会はメンバー全員で懇親を深めることで、それ以降のまちづくり運動に対して更なる一体感を育み取り組むための一助となることができました。新年懇親会・納涼会では多くの特別会員の皆様に参加していただき親睦を深め、先輩方から暖かいお言葉をいただくことで、（一社）津山青年会議所への期待を感じさせていただくことができました。望年会では、２０１６年度の集大成として会員一人ひとりが自身の成長を感じ、ＪＡＹＣＥＥとして活躍された卒業生をお送りすることで、一体感をもち本年度から次年度へ望むことができました。

菅田理事長をはじめとする理事・役員の皆様には事業計画の段階から多くのお言葉をいただき、当日の設営に関しても、多くのご協力いただきましたこと感謝申し上げます。また、一年間を通じて、支えていただいた委員会メンバーには例会・委員会事業はもちろん、それ以外でも色々と助けていただき心から感謝しております。私自身も、皆様からいただいた御恩を返してくためにも、本年度委員長として経験してきたことを、これからのＪＣ運動・活動に活かし、全力で邁進していきます。一年間本当にありがとうございました。

□決算報告

年初の会	１８５，０９５
新年懇親会	９４２，９９７
納涼会	７２１，０２５
望年会	６０７，１３２
例会活動費	１０，８００
	２，４６７，０４９

指導力研修委員会

委員長 田　邊　久　人

■事業報告

●新会員に関する事項
イ）新会員研修会（導入編）　２０１５年１２月１４日（月）～２０１６年1月１９日（火）
ロ）新会員研修会（研修編）　２０１６年９月３日（土）
ハ）新会員研修会（挑戦編）　２０１６年2月２２日（月）～２０１６年3月１９日（土）
二）指導力研修委員会　拡大委員会　２０１６年１２月5日（土）
●青年経済人としての会員の研修及び開発の推進
イ）ビジネス研修会　～Ｎｏ　ｃｈａｌｌｅｎｇｅ　Ｎｏ　ｓｕｃｃｅｓｓ～
２０１６年９月１７日（土）

本年度、指導力研修委員会、そして私のテーマといたしまして、「挑戦」をテーマにＪＣ運動・活動を１年間行ってまいりました。
昨年の１２月１４日より理事・役員予定者と新会員予定者との顔合わせ会からスタートいたしました新会員研修会（導入編）では、１月１９日の新年懇親会に向かって励まし合い、協力し合うことで今後のＪＣ運動・活動の支えとなる同期という特別な関係を育んでもらいました。私の不甲斐なさで開催が遅れ９月３日（土）の新会員研修会（研修編）では二部構成で行い、第一部では日本ＪＣ公認プログラム「ＪＣゲーム」をＬＯＭメンバー全員対象に開催いたしました。ＬＯＭメンバーの皆様には楽しみながらＪＣゲームを行っていただき多くの「気づき」を得ていただくことで、新たにＪＣの良さ、素晴らしさを感じていただきました。第二部では、新会員が２月に調査・研究した課題事業を実際に経験した感想を発表してもらい、その後、第５６代理事長を務められました光岡宏文先輩をお招きいたしまして、「ＪＣの魅力、やりがい、そして挑戦」というテーマでお話をしていただきました。光岡先輩のお話はユーモアを交えながら、熱く何を取り組むためにも楽しく、素晴らしいお話をしていただきました。新会員は光岡先輩が経験してこられた熱いお話をお聞きしたことで、ＪＣの魅力、やりがいを感じ、今後のＪＣ運動・活動を積極果敢に取り組んでくれると感じさせていただきました。９月１７日（土）にはビジネス研修会～Ｎｏ　ｃｈａｌｌｅｎｇｅ　Ｎｏ　ｓｕｃｃｅｓｓ～を開催し、米国松下電器の社長、会長を歴任されました岩谷英昭氏をお招きし、「挑戦なくして　成功なし」～今やろう！行動しよう！～というテーマでお話をしていただきました。岩谷氏の経験を踏まえたお話をお聞きしながら、講演の中では、Ｌｅａｄｅｒとしての心構えや今後の世界動向など多くの話がありましたが、その中でも特に情熱とスピード感を持って「挑戦すること、実際の行動に移すこと」の大切さを学びました。そして、視野を広く持つこと、経営者としてどうあるべきかを改めて考えさせられた、挑戦する刺激をもらいましたなどＬＯＭメンバーが気づき、再認識することができとても貴重な時間を過ごすことができました。１２月５日（月）に行いました、拡大委員会では新会員に３分間スピーチをしてもらいました。この１年間で一回りも二回りも成長した１２名の新会員のスピーチを聞かせていただき大変嬉しく感動いたしました。新会員の皆さん本当にお疲れ様でした。この１年間を通して、多くの方々にご迷惑をお掛けしてしまい大いに反省しております。その中でも、本当に多くの皆様に手を差し伸べていただき、支えていただきながらここまで来ることができました。ＬＯＭメンバーの皆様、委員会メンバーの皆様には心より感謝の気持ちで一杯です。１年間本当にありがとうございました。

□決算報告

新会員研修会(導入編)	３３，７４３
ビジネス研修会	５５，３９８
新会員研修会（研修編）	３０，１８７
	１１９，３２８

地域活性化委員会

委員長 片　田　恭　裕

■事業報告

地域活性化委員会では本年度、地域に住み暮らす人々に地域の現状を理解してもらい、住み暮らす地域への関心を高め、自ら行動することの意義を学ぶことを目的に６月２２日、７月３日に「地域の未来はみんなの未来～さあ、みんなで考えよう！」を開催いたしました。この事業は選挙権の年齢が引き下げられたことに端を発し、投票率を一つの地域の関心のバロメーターとして捉え、日本の将来を担う若い世代の意見を政治に取り入れることで、地方創生及び地域の活性化につなげるという背景の基、選挙という手法を用いて地域へ対しての関心を高めてもらうことで、自ら行動することの一つである投票に行くということにつながったと考えています。６月２２日の「地域の未来を考えよう！」編においては、（公社）日本青年会議所民度向上委員会より講師をお招きし、模擬投票プログラム「みらいく」のセミナーをＬＯＭメンバー対象に行いました。７月３日の「さあ、みんなで考えよう！」編においては、一般参加者と共に、就実大学副学長杉山慎策先生の講師講演を拝聴することで、地域の現状と取り組みについて理解してもらい、その後に模擬投票プログラム「みらいく」を受けていただくことで、選挙のシステムと地域のつながりを理解していただきました。受講後に一般参加者とＬＯＭメンバーの皆様にグループディスカッションをしていただき、自分たちの住み暮らす地域について考えていただくことで、地域の問題点、地域へ期待すること、地域に対して何ができるかを理解していただくことで、地域に愛着と誇りをもつことにつながったと確信しております。

地また、１１月３日津山市民憲章デーにおいて、「親子であるこう！城下町」を開催いたしました。重要伝統的建造物保存地区である城東地区を歩くことで、車社会の現代において、歩くことでしか気づかない、住み暮らす地域の魅力を体感してもらうことを目的に開催いたしました。親子で城東地区を歩いていただき、建造物だけではなく溝の石一つとっても津山城の石垣と同じ石を用いていたり、とおり一つ一つが津山城を守るための構成になっているという、津山城と密接な関係があるということを理解していただき、自分たちが住み暮らしている地域に対して愛着をもっていただくことで、郷土愛の醸成につながったと感じております。

地最後になりますが、事業の計画から実施に携わっていただいた皆様、ＬＯＭメンバーの皆様、委員会メンバーの皆様など多くの方に支えられ、お力添えをいただいたことで１年間を全うすることができたことに心より感謝を申し上げます。一年間本当にありがとうございました。

□決算報告

地域の未来はみんなの未来～さあ、みんなで考えよう！

	１０６，６０５
	１０６，６０５

心の教育推進委員会

委員長　流　郷　知　寛

■事業報告

本年度、心の教育推進委員会では、次代を担う子供たちが日常とは違う環境において、心つながる体験をすることで、自己の成長と心と心のつながりを大切にできる思いやりの心を育むことを目的に青少年健全育成事業「心つながる夏のキャンプ！～心の手と手をつなごう～」を開催いたしました。８月２０日から２３日の２泊３日で新見市大佐山キャンプ場及びその周辺にて自然体験学習を行い、小学４年生から６年生を対象に実施いたしました。青少年、教育に関する調査研究を行っていく中で、子供たちは成長過程において周囲の環境や体験によって自己を確立していくことが解りました。また、多感な成長期に自然との関わりや多くの体験が豊かな心を育てること、そして学ぶという意欲は好奇心から生まれることが解かりました。さらに、教えるということは大人の思う良い子に育てるのではなく、子供たち自身の力を伸ばしていけるよう導いてあげることが大切で、これらを踏まえ自然体験学習を計画しました。体験プログラムでは、洞窟探検、シャワートレッキング、大佐山ハイキング、木工クラフト、火おこし、野外炊飯、テント張り等を行いました。子供たちは自然体験や助け合いを通じて、自然の素晴らしさやたくさんの人に支えられていることを学び、日常では経験できない体験を自ら関心や好奇心をもって学び、取り組むことで価値観を広げ感性を磨き自身の成長につなげることができました。そして、キャンプファイヤーとフィナーレで、感謝を伝えるとともに一緒に過ごした友達と家族からの愛情を感じることで心と心のつながりを大切にできる思いやりの心を育むことができたと確信しています。フィナーレを終え、子供たちと涙のお別れは本当に心つながる感動をいただきました。子供たちがこの経験を活かし、健やかに成長してくれることを心から祈っております。最後になりましたが、委員会メンバー、サポーター、ＬＯＭメンバーの皆様に支えていただき、本事業を無事に終えることができましたことを心より感謝申し上げます。この一年間を振り返るといつも委員会メンバー、室長に支えていただき助けていただきました。自分の弱さや足りていない部分がはっきり見えた一年でした。事業でも子供たちの笑顔や皆様のお力添えに何度も助けていただきました。この一年間、本当にかけがえのない貴重な経験をさせていただきましたことに心から感謝しております。この経験を活かし、今後のＪＣ運動、活動に邁進してまいります。一年間本当にありがとうございました。

□決算報告

心つながる夏のキャンプ～心の手と手をつなごう～

２１９，７３６３

２１９，７３６３

広報渉外委員会

委員長 福　島　邦　洋

■事業報告

２０１６年度（一社）津山青年会議所広報渉外委員会では、本年度展開してきた（一社）津山青年会議所の運動・活動等組織内外に発信してまいりました。まず広報活動においては、２０１６年度の（一社）津山青年会議所の運動・活動について情報発信しました。対内誌「あした」において、現役会員・特別会員・他青年会議所・家族などに向けの情報を発信しました。（一社）津山青年会議所公式ホームページでは、JCニュースにおいて旬な情報を広く発信しました。また渉外活動においては、親睦・交流を通じてメンバーの気づきや意識の高揚の一助となるよう活動してまいりました。本年度は、他団体との情報交換の一環として、津山市役所FM推進室との合同勉強会を開催し、ファシリティマネジメントという観点から津山市内の公共施設を取り巻く状況や今後のあり方について知る機会を設け、（一社）津山青年会議所のメンバーの見識を深めることにつなげることができました。

1.JCニュースの発行

1,6,7,10,12月と年間計５回対内誌「あした」の発行でLOMの運動・活動を内外に情報発信すると共に活動記録を残しました。

2.渉外に関する事項

県北４ＪＣ新旧合同役員会議　２０１５年１１月３０日　２３名　津山
岡山ブロック協議会　出向予定者全体会議　２０１５年１２月２１日　２６名　岡山
京都会議　２０１６年１月２３日　３８名　京都
（一社）宮古青年会議所歓迎会　２０１６年１月２４日　４７名　津山
第１回県北４ＪＣ合同役員会議　２０１６年２月２４日　２０名　真庭
岡山ブロック新会員研修会　２０１６年３月１９日　３２名　岡山
第２回県北４ＪＣ合同役員会議　２０１６年３月２２日　１８名　美作
県北４ＪＣ合同例会　２０１６年４月２６日　３８名　新見
第３５回全国城下町シンポジウム彦根大会　２０１６年５月２１日　１４名　滋賀
津山商工会議所青年部・津山青年会議所交流会　２０１６年５月２６日　３７名　津山
岡山ブロック大会　２０１６年６月１２日　３２名　真庭
中国地区コンファレンス　２０１６年６月１８日　２４名　岩国
（一社）児島青年会議所創立５０周年記念式典　２０１６年７月２日　名　児島
第３回県北４ＪＣ合同役員会議　２０１６年７月１４日　２１名　新見
サマーコンファレンス　２０１６年７月１６日　１１名　横浜
津山市役所・津山青年会議所合同勉強会　２０１６年９月１４日　２６名　津山
第６５回全国大会　広島大会　２０１６年１０月８日　広島
第４５回岡山ＪＣ・津山ＪＣ交歓会　２０１６年１０月１３日　４１名　岡山
（一社）宮古青年会議所創立５５周年記念式典　２０１６年１０月２２日　１４名　宮古島

□決算報告

対内誌「あした」	３３８，２８０
	３３８，２８０

２０２０年の森プロジェクト

キャプテン　秋　田　義　徳

■事業報告

本年度、２０２０年の森プロジェクトでは「２０２０年の森の管理・育成事業」と２０２０年にむけての事業である「運んでみよう！森あげよう！」の２つの事業を開催いたしました。

管理・育成事業では、２０２０年の森において、２５名の特別会員の先輩方と共に２０２０年の森の管理・育成を行いました。新会員は森の範囲の確認のため、先輩と一緒に頂上まで登り、２０２０年の森だけでなく（一社）津山青年会議所の意義や目的などを先輩からお話しいただくことができました。主な作業としては、２０２０年の森の歴史を感じながら作業するために記念碑の清掃・修繕を行い、また、管理小屋の床面や周辺の修繕、橋の修繕、腐食したベンチの撤去、丘の湧水導水整備、作業道は崩土を撤去するなど安全な通行を確保しました。現役メンバーは不慣れな作業の中でも、知恵を出し合い、汗をかき、勢いをもって作業することで連帯感を育み、先輩に負けない力強さをもつことができました。また自ら作業することで２０２０年の森への愛着を深めることができたと思います。そして、第３代・第６代２０２０年の森キャプテンを務められ、第３１代理事長を歴任されました櫻井健一先輩から、現役メンバーへの激励のメッセージをいただくことができ、また、事業後の懇親会では創立２０周年実行委員長の立垣晃弘先輩から２０２０年の森の創始の想いや情熱を拝聴させていただき、これまで先輩方が受け継いでこられた２０２０年の森の歴史・伝統・信頼、そして地域の発展に寄与する想いや情熱を継承することができ、２０２０年の森を次代へと繋ぐ事業とできました。

「運んでみよう！森あげよう！」の事業では、搬出作業と会議とを２日に分けて行いました。搬出作業当日は先輩方の想いの詰まった重たい丸太を人力で運び出すという困難な作業であったにも関わらず、一体感をもって作業したことで、メンバーの勢いを感じることができ、力を合わせれば何事も達成できることを実感しました。販売結果を受けての会議では、どれだけの販売金額になるのかだけではなく、２０２０年にむけて何が必要なのか見識を深めることができ、また、活発に意見を交わし合い、多くの意見を抽出したことで、２０２０年にむけての大きな一歩となりました。そして、今回の事業を行うことで、厳しい条件の中でも創始の想いを遂げたいという２０２０年にむけて挑戦する気持ちが持てるようになり、地域の発展に寄与する想いを強くできたと感じています。

最後になりましたが、多くの特別会員の先輩方や現役メンバーの皆様のおかげで２０２０年の森に一体感をもって取り組めたこと、そして何より無事に事業を終えることができたことを感謝いたします。そして、支えていただきましたプロジェクトメンバーの皆様、１年間ありがとうございました。

□決算報告

２０２０年の森の管理・育成事業	３８，４２１
運んでみよう！森あげよう！	６６，１１８
	１０４，５３９

出　向　役　員

公益社団法人日本青年会議所内部会計監査人グループ中国地区代表
公益社団法人日本青年会議所中国地区協議会会計監査人
土　居　大　介

■事業報告

２０１６年度、青年会議所最終年度は、中国地区協議会へ会計監査人として、また公益社団法人日本青年会議所内部会計監査人グループ中国地区代表として出向いたしました。　　主な担いとしては内部会計監査人グループにおいて、日本青年会議所の会計及びガバナンスの監査、各地区及びブロック協議会の監査担当役員の皆様への監査セミナーの開催、監査のフォロー、月次監査の進捗チェック等、毎月青年会議所会館に赴き活動をしてまいりました。ＬＯＭでは、出向役員という役職をいただいておりましたので、出向先での職務を優先させていただいたこともあり、ＬＯＭでの運動・活動にはあまり関わることができなかったことが残念でなりません。しかし出向先では監査ということで普段あまり経験することない経験をし、監査の重要性を再認識し、多くの気づきや学びを得る一年でありました。また、数多くの同志と出会い一生涯の友に恵まれた事は、なりより嬉しいことであったと思います。最後に、ＪＣライフ８年間、叱咤激励、ご理解ご協力いただきました全ての皆様に感謝申し上げます。ありがとうございました。

日本青年会議所
2016/1/14～15　2015年度日本ＪＣ事業監査　青年会議所会館
2016/1/22　グループ会議　青年会議所会館
2016/1/23　第１回監査担当役員向けセミナーの開催　京都国際会議場
2016/2/12～14　2015年度日本ＪＣ決算監査　青年会議所会館
2016/2/14　監査報告会　青年会議所会館
2016/3/25～27　第２回監査担当役員向けセミナーの開催　青年会議所会館
2016/4/23～24　グループ会議　北海道大学東京キャンパス
2016/5/21～22　第３回監査担当役員向けセミナーの開催　青年会議所会館
2016/6/24～26　グループ会議　札幌
2016/7/15　グループ会議　青年会議所会館
2016/8/18～21　2016年度日本ＪＣ本体中間監査　青年会議所会館
2016/9/15～18　グループ会議　青年会議所会館
2016/10/23～26　地区協議会・ブロック協議会決算直前合同監査　青年会議所会館
2016/11/8～11　地区協議会・ブロック協議会決算直前合同監査　青年会議所会館
2016/12/1～2　地区協議会・ブロック協議会外部監査　岡山国際交流会館
2017/16～18　2016年度日本ＪＣ事業監査　青年会議所会館
2017/2/9～12　2016年度日本ＪＣ決算監査及び監査報告会　青年会議所会館

地区協議会　中国地区協議会会計監査人
2015/10/13　役員予定者会議　岡山
2015/11/13　役員予定者会議　岡山
2015/12/4　役員予定者会議・会員会議所会議　岡山
2016/1/22　会員会議所会議　京都国際会議場
2016/2/6　役員会議　西大寺
2016/3/5　役員会議　庄原
2016/4/8　役員会議　防府
2016/5/27　役員会議　江津
2016/6/17　役員会議・会員会議所会議・中国地区コンファレンス　岩国
7月及び8月は日本ＪＣグループ会議に出席
2016/9/24　役員会議・中国地区懇親野球大会　光
2016/10/1　役員会議　境港
2016/11/12　役員会議　玉野
2016/12/3　役員会議・会員会議所会議　岡山

出　向　者　報　告

全国大会運営会議

議　　員	金　田　長一郎

全国大会運営会議に本年度初めて出向させていただき、全国のメンバーと関わる中で、色々な経験をさせていただきました。普段、ＬＯＭ内部だけでは感じられない事や、全国から集まった熱い想いをもった方々と話をして、自分の中でも大きく成長できたと実感しております。小笠原キャプテンと共に所属となった第５小会議は非常に出席率も高く、やる気と思いやりをもった人が多く、自然と私もやる気になり、全国大会が今年は広島だったこともあり、出席を多くさせて頂きました。大会当日はあいにくの雨ではありましたが、大会は大きな成功だったと思います。今後の仕事、ＪＣ運動・活動に活かせれるような貴重な経験を本当にありがとうございました。

（公社）日本青年会議所　ＪＣプログラム実践委員会

委　　員	森　山　裕　一

本年度、日本青年会議所ＪＣプログラム実践委員会に出向させていただきました。セミナーとトレーナーの育成を担当する委員会で、毎月の委員会の後にさまざまなセミナーを実際に受講させていただきました。そして、トレーナーになるための最初のステップであるＪＣＩセミナー３コースも終了し、トレーナーとしての第１歩を踏み出すことができました。日本各地の委員会に出席させていただき、さまざまなＬＯＭの方と出会い、さまざまなセミナーを受けさせていただけるという貴重な経験をさせていただきました。この出向で多くの学びと気づきを得ることができました。この経験を次年度以降にしっかりと活かしていきたいと思います。１年間ありがとうございました。

（公社）日本青年会議所中国地区５４ＬＯＭをつなげる委員会

委　　員	中　川　洋　平

（公社）日本青年会議所中国地区５４ＬＯＭをつなげる委員会に出向させていただきました。

委員会では中国地区内各地ＬＯＭに地域資源聞き取りをし、ＳＮＳにより発信することで情報共有をし、中国地区内各地ＬＯＭの相互のレベルアップと地域間連携の模索の場を提供できました。また、例会等の各種会議体にオブザーブしていただき、中国地区協議会の役割を知るとともに情報共有と友情から生まれる各地会員会議所活動の活性化に繋げました。

最終年度に出向させていただき、卒業後もずっと続くようなご縁をいただけました。このような出会いは自分で出向に対してためらうのではなく、一歩進む機会を作ることで自分のネットワークをさらに広げられたと思います。

最後になりましたが、このような貴重な経験をさせていただき感謝申し上げます。ありがとうございました。

中国地区協議会　地域再興委員会

委　　員	河　野　雅　樹

本年度、中国地区協議会　地域再興委員会に出向させていただきました。福山ＪＣの岩本委員長のもと、地域再興運動の募集・運営、ＪＣカップＵ－１１少年少女サッカー全国大会の中国地区予選大会の運営を担いとして取り組んで参りました。地域再興運動では6月１７日に山口県岩国で地域再興セミナーを行いました。そして、ＪＣカップＵ－１１少年少女サッカー全国大会の中国地区予選大会では、地域の未来を担う子供たちに勝負に負けても相手を称えられる強く前向きな心「グッドルーザーの精神」を伝え、道徳心をもった自立した人材を育む目的で取り組み、大会を通じて地域間の交流人口を拡大し地域の活性化を目指しました。出向を通じて、(一社)日本サッカー名蹴会との連携など、ＪＣのスケールの大きさを改めて知ることができました。本年度はなかなか参加できませんでしたが、貴重な気づきを得ることができました。１年間本当にありがとうございました。

総務全国大会連絡会議

議　　員	小　林　諭　卓

本年度、岡山ブロック協議会 総務・全国大会連絡会議に出向させていただきまして、有難うございました。

総務・全国大会連絡会議の担いの一つに全国大会広島大会の参加推進がありました。会議体として、如何に岡山ブロック協議会一丸となり、広島大会を盛り上げご参加いただき、広島の素晴らしい良さを改めて全国の方に発信することができました。そして、５１生まれの卒業生を送り出す、素晴らしい全国大会となりました。岡山ブロック協議会に出向という機会と貴重な経験を与えてくださいました菅田理事長をはじめ、メンバーの皆様に感謝申し上げます。そして、皆様のご支援ご協力で１年間を無事に終えることができましたことに、感謝いたしております。本年度経験したことを次年度以降につなげてまいりたいと思います。本当に一年間有難うございました。

岡山ブロック協議会　心あるリーダー増強委員会

副委員長	眞　木　祐　治

本年度、岡山ブロック協議会心あるリーダー増強委員会に副委員長として出向させていただきました。事業としては、３月に行われました岡山ブロック協議会新会員研修会に始まり、６月の岡山ブロック大会では１５ＬＯＭ会員増強パネルディスカッションを開催し、９月には牛窓町にあります前島にてブロックアカデミーを開催し、そして、１０月には１５ＬＯＭ拡大担当者会議を全２回開催しました。ブロックアカデミーでは、新会員を対象にしたいかだ作り＆いかだ乗りを実施し、ブロック内の新会員の交流を図り、拡大担当者会議では、島根ブロック協議会の平下智隆会長をお招きし、江津青年会議所の会員拡大の成功事例をお話しいただきました。当委員会は、研修や会員拡大など非常に多くの担いのある委員会でしたが、その分出向メンバーも多いため、事業や懇親会を通じて多くの絆をつくることができ、素晴らしい出会いのある出向となりました。ＬＯＭにて理事未経験の私を副委員長として出向させていただいた菅田理事長を始め、一緒に出向した有本副理事長と松本委員に心から感謝申し上げます。

岡山ブロック協議会　心あるリーダー増強委員会

委　　員	松　本　宏　光

本年度、心あるリーダー増強委員会に出向させていただきました。委員会では、利他の心で溢れ社会に共感を与えるリーダーを育成するため、様々な事業を行いました。新会員研修会では新会員がＪＣ運動目的を理解し行動していく上で必要な知識や理念を身につけ、明確なビジョンを持てるためのセミナーを実施しました。またその後の講演会では、市民と一体となり能動的に地域課題を解決していくことのできる心あるリーダーの育成に向け、矢口健一先輩をお招きし、新会員や入会歴の浅いメンバーを対象に、ＪＣ運動・活動への意識変革につながる講演をしていただきました。１５ＬＯＭ会員増強パネルディスカッションでは、会員拡大の重要性を再認識していただき、会員拡大運動を起こしていくため、意見交換会と情報共有を行いました。そしてブロックアカデミーでは、利他の心で溢れ社会に共感を与える心あるリーダーの育成に向け、会員同士が一つの目的に向かって助け合い、協力し学ぶ心を養うための研修として、いかだ作りといかだ乗りを行いました。今回出向することで、各ＬＯＭと知り合い、多くの刺激を受け、学ぶことができました。本当にありがとうございました。

中国地区岡山ブロック協議会　地域の心醸成委員会

委　　員	森　元　　宏

本年度、公益社団法人日本青年会議所　中国地区岡山ブッロク協議会　地域の心醸成委員会に出向させていただき、感謝申し上げます。

岡山県は全国で最も著しい学力低下問題や少年非行問題を抱えており、地域を再生していく為には人と人とへの繋がりを守り、問題解決に向けて道徳を学ぶことで、人間力に繋がる利他の心が育まれ、自らの力で行動することで自立心が育まれることにより、温かいコミュニティの創造を目的としました。

７月９日(土)玉島文化センターにおいて、事業開催対象者を岡山県の中学生・高校生・教育関係者といたしました。音楽から広がる利他の心の事業といたしまして、全国各地の学校で８００以上の講演の実績をもつ経験豊富な大野靖之氏をお招きした貴重な事業となりました。体験談を元に音楽を交えながら、ご講演いただき私自身も大変心に響くものがありました。

各青年会議所のメンバーの方々と事業に向けての会議を重ねることでメンバー同士の絆や友情が育まれ、事業終了後、素晴らしい達成感を経験させていただきました。

出向させていただいたことで多くの仲間が出来、今後のＪＣ運動・活動に役立つと確信し、邁進して参りたいと思います。出向させていただいたことに感謝しております。

岡山ブロック協議会　国家意識醸成委員会

委員長幹事	岸　本　陽　平

本年度、岡山ブロック協議会国家意識醸成委員会委員長幹事として出向させていただきました。入会依頼お世話になってきた須江委員長を支えるべく、委員会メンバーに快く出席してもらえることを心がけ職務に従事してきました。須江委員長の明確な方針と幹事の山本（俊）君、勝山君のご活躍、委員として出向した石原君のご協力もあって他ＬＯＭの委員会メンバーも毎回積極的に出席してくださり、非常に充実した委員会を設営することができました。また個人的にも出向して出会った方々のお話を聴き、交流を重ねる中で多くの学びや気づきがあり、ＪＣ生活最後の年にして最高のブロック出向ができたと思います。温かく出向させてくださったＬＯＭの皆様、国家意識醸成委員会の皆様、岡山ブロック協議会役員団、幹事団の皆様、一年間大変お世話になりました。ありがとうございました。

岡山ブロック協議会　国家意識醸成委員会

委　　員	石　原　雅　志

本年度、岡山ブロック協議会国家意識醸成委員会に委員として出向させていただきました。委員会事業としましては「いいね！みんなの未来～若者×選挙＝心ある岡山の創造」という事業を通じて若者に選挙の大切さや自分たちの未来について考える内容の事業を行いました。また「全国一斉！国民投票シミュレーション！私たちの意思を示そう！」では日本国憲法がどのように作られたかを学び、岡山県民に日本国憲法改正についての国民投票を行いました。私自身も日本国憲法、みんなの未来を選択する選挙の大切さを学び大変貴重な経験をさせていただきました。一年間を通じて色々な活動をさせていただき本当にありがとうございました。

貸 借 対 照 表

2016年12月31日現在

（単位：円）

科目名	金 額
Ⅰ 資産の部	
1. 流動資産	
現金預金	7,181,831
現金	8,174
当座預金	0
津山信用金庫本店	0
普通預金	7,173,657
中国銀行津山支店	3,469,475
鳥取銀行津山支店	1,191,686
津山信用金庫本店	2,512,496
定期預金	0
津山信用金庫本店	0
立替金	446,878
未収入金	22,477
事業仮払金	91,988
貯蔵品	6,700
流動資産合計	7,749,874
2. 固定資産	
その他の固定資産	117,500
出資金	117,500
固定資産合計	117,500
資産合計	7,867,374
Ⅱ 負債の部	
1. 流動負債	
未払金	228,597
預り金	0
源泉税預り金	
その他預り金	0
前受金	1,290,000
流動負債合計	1,518,597
2. 固定負債	
	0
	0
固定負債合計	0
負債合計	1,518,597
Ⅲ 正味財産の部	
一般正味財産	6,348,777
正味財産合計	6,348,777
負債および正味財産合計	7,867,374

正味財産増減計算書

2016年1月1日から2016年12月31日まで

（単位：円）

科　目	金　額
Ⅰ　一般正味財産増減の部	
1. 経常増減の部	
(1) 経常収益	
受取入会金	250,000
受取入会金	250,000
受取会費	8,662,500
正会員受取会費	8,662,500
事業収益	3,614,740
登録料収益	3,569,740
業務委託収入	0
雑収入	45,000
受取補助金等	0
受取国庫補助金	0
受取地方公共団体補助金	0
受取民間補助金	0
受取寄附金	226,000
受取寄附金	226,000
募集収益	0
雑収益	525,823
受取利息	687
その他雑収入	25,136
津山市民憲章受託費	264,000
OB会通信費	236,000
経常収益計	13,279,063
(2) 経常費用	
事業費	6,747,825
会場設営費支出	424,296
人件費支出	20,000
会場費支出	294,780
設営費支出	109,516
企画・演出費支出	1,121,493
演出費支出	1,121,493
本部団関係費支出	936,000
設営費支出	936,000
渉外費支出	0
講師関係費支出	19,440
記念品代支出	19,440
資料作成費支出	59,736
作成費支出	59,736
保険料支出	161,058
雑費支出	18,584
委員会運営費支出	4,007,218

（単位：円）

科　目	金　額
管理費	6,181,174
会議費	534,140
役員報酬	0
給料手当	2,224,438
退職給付費用	0
福利厚生費	0
旅費交通費	0
通信・発送費	245,924
消耗品費支出	788,910
リース料支出	114,660
印刷製本費支出	
光熱水料費支出	126,502
賃貸料支出	454,680
業務委託費支出	32,400
インフォメーション関係費支出	0
渉外費支出	607,000
雑支出	92,420
負担金支出	960,100
JSI負担金支出	79,750
日本JC負担金支出	335,000
地区協議会負担金支出	29,000
ブロック協議会負担金支出	116,000
国際協力資金支出	105,850
日本JC出向者負担金支出	140,000
We Bilieve購読料支出	154,500
経常費用計	12,928,999
当期経常増減額	
2. 経常外増減の部	0
(1) 経常外収益	0
経常外収益計	0
(2) 経常外費用	
経常外費用計	0
当期経常外増減額	0
当期一般正味財産増減額	350,064
一般正味財産期首残高	5,998,713
一般正味財産期末残高	6,348,777
Ⅱ　指定正味財産増減の部	
当期指定正味財産増減額	0
指定正味財産期首残高	0
指定正味財産期末残高	0
Ⅲ　正味財産期末残高	6,348,777

財　産　目　録

2016年12月31日まで

（単位：円）

科目名		金　額
Ⅰ　資産の部		
1. 流動資産		
現金預金		7,181,831
現金	現金手許有高	8,174
普通預金		7,173,657
中国銀行津山支店	口座番号1281389	3,469,475
鳥取銀行津山市店	口座番号　67038	1,191,686
津山信用金庫本店	口座番号0659314	2,512,496
立替金		446,878
未収入金	社会保険料調整分等	22,477
事業仮払金	次年度会議費等	91,988
貯蔵品		6,700
流動資産合計		7,749,874
2. 固定資産		
その他の固定資産		117,500
出資金	津山森林組合出資金235口	117,500
固定資産合計		117,500
資産合計		7,867,374
Ⅱ　負債の部		
1. 流動負債		
未払金	事務局員給料、交通費、社会保険料	228,597
預り金	源泉所得税他	
前受金		1,290,000
流動負債合計		1,518,597
2. 固定負債		
固定負債合計		
Ⅲ　正味財産の部		
一般正味財産		6,348,777
正味財産合計		6,348,777
負債及び正味財産合計		7,867,374

物 品 管 理 会 計

資産の部	摘　　要	金　　額
	1. 受信用電話機セット	10,000
	2. 書庫　1. ファイリングキャビネット	19,550
	2. 事務用ロッカー	真庭JC15周年記念品
	3. 会議用ロッカー	20,000
	4. 書庫(大・上下)	24,000
	5. 書庫(大・上下)	44,000
	6. 書類収納用ロッカー(階下)	15,500
	3. 例会用パネル　3枚(含新マーク)	70,000
	4. 例会用演題	15,000
	5. 特別会員ネームプレート	44,000
	6. 私書箱	21,500
	7. 事務机2台　椅子1脚	23,250
	8. 事務机	3,500
	10. 裁断機	2,800
	11. JC旗用三脚	7,200
	12. 手提げ金庫	4,160
	13. 絵画	OB会より25周年記念品
	14. テント　4張り	1982・83・85年度卒業生記念品
	15. 書庫	美作JC15周年記念品
	16. ホワイトボード	美作JC15周年記念品
	17. ロッカー上置戸棚　1set	92,700
	18. 会議用テーブル(1)、椅子(4)	1990年度卒業記念品
	19. レターケース	20,720
	20. テレホンスタンド	15,750
	21. 留守番電話機	37,080
	22. ADSLモデム一式	30,000
	23. 例会用看板・城下町宣言タペストリー	60,000
	24. 無線LAN　BBルーター	7,980
	25. シュレッダー	2005年度卒業記念品
	26. 特別会員ネームプレート	2005年度卒業記念品
	27. JCIマーク入りLOM旗　一式	2006年度卒業記念品
	28. JCIマーク入り法被一式	2005・2006年度卒業記念品
	29. 会議用長パイプ椅子　6脚	20,317
	30. LOM会計ソフト(バランスマン)	68,000
	31. リソグラフ印刷機　RZ570　1台	283,500
	32. 会議用長テーブル　3台	2007年度卒業記念品
	33. フロンティアPC・周辺機器一式	2007・2008年度卒業記念品
	34. PC用外付ハードディスク	2009年度卒業記念品
	35. プロジェクター用スクリーン	2009年度卒業記念品
	36. キャノンレーザープリンターLBP3310	2010年度卒業記念品
	37. テント　1張り	2011年度卒業記念品
	38. 書庫　4台	2012年度卒業記念品
	39. プロジェクター	2013年度卒業記念品
	40. YAMAHA　STAGEPAS 400i	2014年度卒業記念品
	41. 国旗　　1式	2015年度卒業記念品
	42. プレジデントリーフ	2016年度卒業記念品
	43. JCI革製フォルダ　5	2016年度卒業記念品
	44. テント　1張り	2016年度卒業記念品
物品管理会計の資産取得額の合計		960,507

一般社団法人　津山青年会議所

財務諸表に対する注記

1．継続事業の前提に関する注記

継続事業の前提に重要な疑義を抱かせる事象又は状況はない。

2．重要な会計方針

（1）消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

3．会計方針の変更

該当なし。

監 査 報 告 書

一般社団法人　津山青年会議所
2016年度理事長

菅田　拓平　殿

2017年1月11日
一般社団法人津山青年会議所

監 事　長谷川　毅

監 事　脇　優太

私たちは、2016年1月1日から2016年12月31日までの会計年度における会計及び監査を行い、次のとおり報告する。

1. 監査方法の概要

(1)　会計監査について

帳簿並びに関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続を用いて、計算書類の正確性を検討した。

(2)　業務監査について

理事会及びその他の会議に出席し、理事から業務の報告を聴取し関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続を用いて業務執行の妥当性を検討した。

2. 監査報告

(1)　貸借対照表・収支計算書・正味財産増減計算書及び財産目録は、会計帳簿の金額と一致し、法人の収支状況及び、財産状態を正しく表示しているものと認められる。

(2)　事業報告書の内容は真実であると認められる。

(3)　理事の職務執行に関する不正行為又は法令もしくは定款に違反する重大な事項はないと認める。

3. 監事講評

2016年度は、菅田理事長のもと三感四恩　～一体感をもち，未来へ向かって力強く行動しよう！～をスローガンに掲げて事業を展開されました。菅田理事長の素晴らしいリーダーシップのもとこの地域を元気にする多くの事業を市民、行政、各団体と共に開催致しました。メンバー自身にとっても、年間を通じて様々な事業を経験することにより、一人ひとりの力は微力ではあるが決して無力ではないことを証明し、そして、地域を愛する気持ちが終結した時には大きな成果が生まれることを実証することができたことは、改めて敬意と感謝の意を表するところであります。

私たちは青年会議所として活動しているからこそ感じるものが沢山あり、だからこそ、それらの諸問題に多く関わっていかなければなりません。私たちには時代を創る責任があります。まずは自分から出来ることを今後も精一杯取り組み、組織として方向性を一致集結すれば今の時代に必ず大きな一石を投じることが出来るものと信じ歩みを進めていただきたいと思います。2017年も益々のご活躍と発展を期待して監事講評とさせていただきます。

２０１７年度

事　業　計　画

一 般 会 計 予 算

一般社団法人　津　山　青　年　会　議　所

第60代理事長　鳥　越　俊　之

年　頭　所　感

「全ての責任は我にあり」

我々はＪＡＹＣＥＥとして、常に自分自身と向き合わなければならない。
人は感動を重ねるごとに成長し、その感動には必ず誰かが存在している。そんな人との出会いを多く与えてくれるのが青年会議所であり、一つひとつの出会いを心から大切にしたい。我々の住み暮らすつやまを心から愛し、つやまの未来を夢見て、積極果敢に挑戦し続けることで、自己研鑽を積み、心に刻まれる感動をしよう。

１９４９年、戦後の混沌とした時代の中、祖国日本再建への使命感と情熱に溢れた青年が集い、日本に青年会議所が誕生しました。この理想主義の運動は日本各地の指導的青年層に深い共感を与え伝播していく中、このつやまにも先輩方の「明るい豊かな社会」の実現にむかって邁進するという確固たる想いのもと、１９５８年に津山青年会議所が誕生しました。我々が敬愛してやまない先輩方の汗と涙、そして何よりもつやまを愛し、つやまの未来を夢見て積極果敢に努力と想いを積み上げられた尊い年月を経て、本年（一社）津山青年会議所は創立６０周年を迎えます。

この節目の年を迎えるにあたり、まずは先輩方の創始の想いを今一度見つめ直し、我々が地域からの信頼と期待を背負い運動・活動出来ることへの感謝の気持ちをしっかりともたなければなりません。そして改めてＪＡＹＣＥＥとしての責任と役割を自覚し、積極的に青年会議所の存在意義を示すための運動・活動を展開・発信することが必要であります。

現在の日本は景気回復の兆しは見えるものの、依然地方経済は低迷し、少子・高齢化、人口減少、財政問題、震災からの復興課題への関心の低下やエネルギー問題などＪＡＹＣＥＥとして我々が住み暮らす地域への関心をもつことだけでなく、国と地方を総合的に捉え将来を見据えた運動展開が必要となっています。また世界各国を揺るがす過激派によるテロ行為や不安定な世界経済情勢など、連日のマスコミ報道においても命の尊厳と未来への希望が失われるような危機感と不安感を感じ、将来を担う子供達の健やかな成長さえもおびやかし、我々ＪＡＹＣＥＥにとってもこれからの「明るい豊かな社会」の実現に向けての新たなる行動指針を示す岐路に立っていると考えます。

だからこそ、語ることだけではなく、果敢なる行動そして何よりも背中で語ることの出来るＪＡＹＣＥ

Ｅとして、家族を守り、友を助け、次代を慈しみ、地域を心から愛し、我々が生まれた日本国に愛着とその精神に誇りをもち、様々な困難や課題から目をそらすことなく目的意識をもち、前に進み続けることがこの現状を打破し未来に希望という光を落すことにつながると考えます。

私たちが住み暮らすつやまは豊かな自然と文化遺産に恵まれ、古くは美作(みまさかの)国(くに)として、また城下町としては津山城を中心として栄えた歴史・伝統・文化に溢れる素晴らしい地域です。近年では行政及び各種団体が手を取り合い、地域活性化への取り組みを積極的に行い、観光開発への注目も多く集まっています。津山青年会議所も津山城を中心としたまちづくり運動を行うことで、この地域に住み暮らす「ひと」の郷土愛の醸成を継続して図ってまいりました。しかしながら人口減少問題など、我々がしっかりと目的意識をもち、取り組み続けるべき問題は依然として存在します。これまで継続して培ってきた想いと歩みを止めることなく、まちを想う機運を高め続け、地域に住み暮らす「ひと」の地域への愛着と誇り、そして何よりも自分たちのまちは自分たちで創るという気概と覚悟をもった「ひと」を今後も継続して増やしていく必要があります。また我々は青年経済人であると同時に、未来の希望である子供達を正しい方向へ導くべき責任世代であります。子供達を地域のたからとして、みんなで大切に育てること、つまり大人と子供が共に育みあい、愛情溢れるまちを創造することで、子供達が健やかに成長出来る社会を創造していかなければなりません。津山青年会議所には先輩方が築き上げてこられた行政・各種団体との素晴らしいネットワークがあります。この素晴らしい財産を活かすことで、今後のまちづくりに対する我々の見識を更に深めると共に、オピニオンリーダーとして積極的な運動を展開・発信し、地域から真に必要とされる団体にならなければなりません。この共生と協働の精神は先輩方から引き継がれた津山青年会議所の想いであり、我々は今一度この意義をしっかりと考え、学び、進化させることで、青年会議所の存在意義を更に高めていく必要があると考えます。

本年創立６０周年を迎えるにあたり、（一社）津山青年会議所の素晴らしい歴史・伝統を謙虚に学ぶ姿勢をもって紐解き、地域からの信頼と期待に青年らしい情熱溢れる姿勢で向き合い、夢と希望溢れる未来を創造すべく運動・行動指針を策定し、志を同じくする同志を更に増やしていくことで、（一社）津山青年会議所はこれからも「明るい豊かな社会」の実現に向かって、積極果敢に邁進してまいります。

【仲間を信じ失敗を恐れない、自分自身の成長のために】

青年会議所は青年の学び舎と呼ぶに相応しい個人の可能性を切り拓く最高のひとづくり団体です。我々の住み暮らす地域が元気になるためには、まずはそこに住み暮らす「ひと」が元気でなくてはなりません。何よりも地域のオピニオンリーダーである我々ＪＡＹＣＥＥが夢と希望に溢れ、元気でなくてはまちは決して元気にはならないのです。青年会議所にはかけがえのない学びや気づきの機会と、共に涙を流せるかけがえのない仲間がいます。青年会議所運動・活動に積極的に取り組み自己を磨きあげること、自分自身を常に省み謙虚に学ぶ姿勢をもち続けること、仲間のために次代のために伝える時は言葉よりも背中を見せ続けることを忘れず、最後には必ず自分自身の成長につながると信念をもち、前向きで情熱溢れる行動をしてまいりましょう。

【我々が夢を語り合う事が地域の希望になる】

活力あるつやまを創造していくためには、まず我々ＪＡＹＣＥＥが知識と言葉だけではなく、意識と行動を第一に地域の問題に目を向け、青年らしく未来に向かって夢を語り合い、能動的に運動展開をしていかなければなりません。素晴らしい歴史・伝統・文化溢れるつやまの活力ある明日のために、様々な問題を調査し議論をするだけではなく、未来をしっかりと見据え、夢を語り合い、想い溢れる運動を続けることが必要です。継続してきたからやるのではなく、地域に存在する魅力を常に青年らしい発想力で見つめ、地域から必要とされるニーズに対応できる視点をもち、地域の発展に向けて未来につながる一歩を踏み出してまいりましょう。

【青年会議所の魅力を心から伝えることが出来る時を過ごすために】
会員一人ひとりが胸を張って全力で青年会議所運動・活動を行っているでしょうか。青年会議所が他の団体とは違う、青年会議所にしかない魅力を胸を張って誰かに伝えられるでしょうか。青年会議所運動の目的達成への想いが強ければ強いほど、その結果は素晴らしい財産となり、プロセスはかけがえのない経験となります。一人で何かを成し遂げるには限度がありますが、誰かのため、仲間のためであるのなら揺るがない覚悟と気概をもち、自分自身の潜在的な能力を引き出すことが出来ます。青年会議所運動・活動の先にあるかけがえのない魅力を会員一人ひとりが心から感じることで、人に伝えること、人を惹きつけることが出来ると考えます。それが真の会員拡大につながり、青年会議所の存在意義を発信していくことになるのです。心に刻まれる感動を共に分かち合い、青年会議所の魅力を心から伝えてまいりましょう。

〈スローガン〉

万里一空

Go to the NEXT!!

〈基本方針〉

創立６０周年を迎えるにあたり、これからの活力ある「つやま」を創造していくために、必要不可欠な運動指針を策定し、メンバーが互いに切磋琢磨し、自分自身の真の成長を信じ、積極果敢に行動することで、「明るい豊かな社会」の実現を目指し、魅力溢れる運動を展開してまいります。

〈運動方針〉

- **感動をつなげるひとづくり**
  （信念をもち、積極果敢に行動できるひとづくり）
- **感動を拡げるまちづくり**
  （地域がひとつになり、心と心がつながるまちづくり）
- **感動を分かち合うＪＣづくり**
  （仲間を信じ、認め合い、一体感溢れるＪＣづくり）

2017年度　理事・役員名簿

理事長	鳥越俊之	
直前理事長	菅田拓平	
副理事長	福田邦夫	(【活力ある「つやま」のあしたのために】ビジョン推進会議 議長) (第66回岡山ブロック会員懇親野球大会実行委員会 実行委員長)
副理事長	須江庸司	(創立60周年実行委員会 実行委員長)(岡山ブロック協議会 副会長)
副理事長	北村暢宏	(総務拡大委員会 委員長)(中国地区協議会 総務渉外委員会 委員)
専務理事	山本竜義	
人間力開発室　室長	河野雅樹	(津山市市民憲章推進協議会 事務局長)
地域力推進室　室長	片山英之	(公益社団法人日本青年会議所 ＪＣブランディング会議 議員) (鶴山を考える会)
事務局長	小笠原翔太	
人間力開発室　副室長	廣田勤	(中国地区協議会 総務渉外委員会 委員長) (特定非営利団体つやまＮＰＯ支援センター)
地域力推進室　副室長	片田恭裕	(まつりプロジェクト キャプテン)(鶴山を考える会)
会員指導力研修委員会　委員長	森山裕一	(岡山ブロック協議会 未来の豪傑増強委員会 委員)
広報渉外交流委員会　委員長	保田知己	(岡山ブロック協議会 総務委員長連絡会議 副議長)
まちづくり委員会　委員長	金田長一郎	(岡山ブロック協議会 地域経済再興委員会 委員)
心の教育推進委員会　委員長	松本宏光	(岡山ブロック協議会 全うな日本人育成委員会 委員)
2020年の森プロジェクト　キャプテン	森元宏	

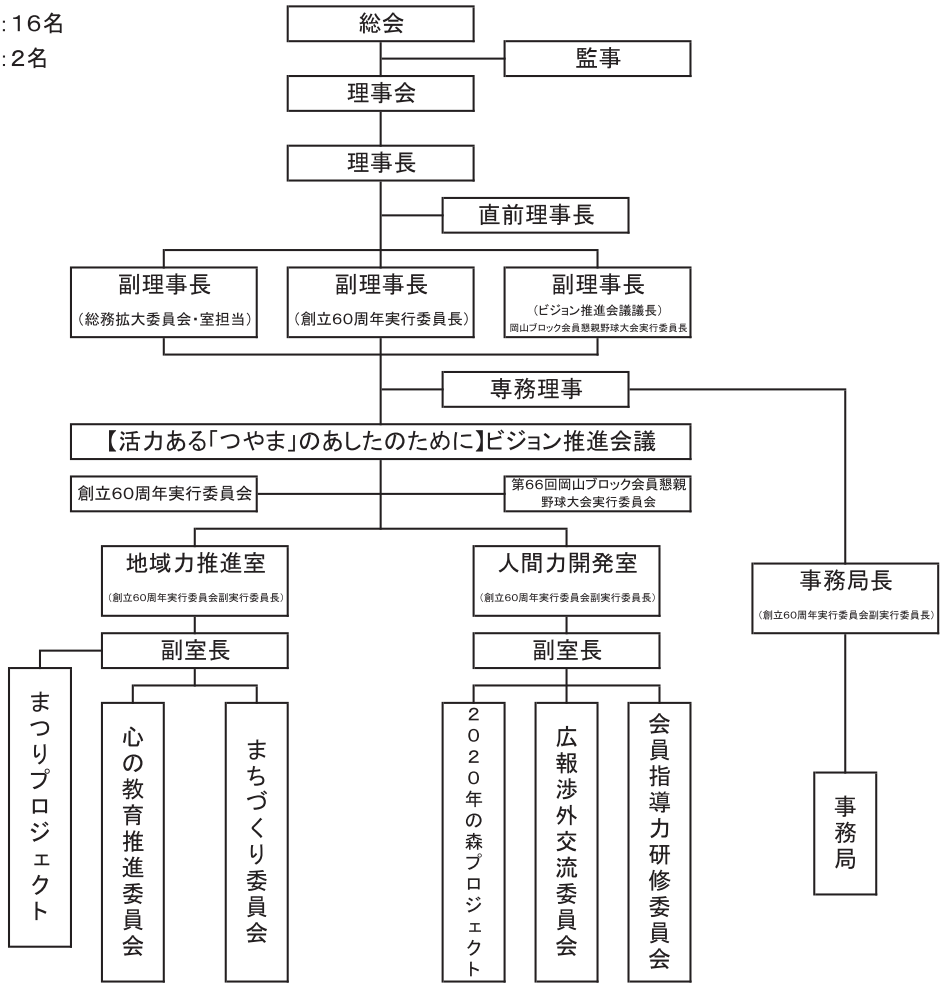
監事	山本俊輔	(中国地区協議会 総務渉外委員会 委員長幹事)
監事	流郷知寛	

（常任オブザーバー）

中国地区協議会	平岡大樹	(総務渉外委員会委員長幹事)
岡山ブロック協議会	赤本淳	(副会長幹事)
岡山ブロック協議会	延原健	(副会長幹事)
岡山ブロック協議会	和田優輝	(総務委員長連絡会議 議員)
岡山ブロック協議会	村上卓也	(未来の豪傑増強委員会 副委員長)
岡山ブロック協議会	早瀬久善	(地域経済再興委員会 委員)
岡山ブロック協議会	勝山和昭	(全うな日本人育成委員会 委員)
全国城下町青年会議所連絡協議会	福島邦洋	(鶴山を考える会)

2017年度（一社）津山青年会議所　組織図

理事：16名
監事：2名



※ビジョン推進会議議長は副理事長が兼務し、副議長は創立60周年実行委員長（副理事長）が兼務する。
※創立60周年実行委員長は副理事長1名が兼務し、室長2名事務局長1名を副実行委員長とする。
※岡山ブロック会員懇親野球大会実行委員長は副理事長1名が兼務し、副室長2名を副実行委員長とする。

2017年度（一社)津山青年会議所 所属表

理事長	直前理事長	副理事長	副理事長	副理事長	監事	監事
鳥越 俊之	菅田 拓平	福田 邦夫	須江 庸司	北村 暢宏	山本 俊輔	流郷 知寛

専務理事		委員会名	委員長	副委員長	幹事	委員・プロジェクトメンバー
山本 竜義						
事務局長		総務拡大委員会	北村 暢宏	菅田 拓平	山本 竜義	鳥越 福田 須江 河野 片山 小笠原
小笠原 翔太						
人間力開発室	室長 河野 雅樹	会員指導力研修委員会	森山 裕一	井上 高志 村上 卓也	國正 啓文	末澤 森元 赤本 矢山 岡田(修)
	副室長 廣田 勤	広報渉外交流委員会	保田 知己	和田 優輝	松田 和也	橋本 田邊 西村(明) 豊福 延原 芦田
		2020年の森プロジェクト	キャプテン 森元 宏	副キャプテン 豊福 祥旗	薮木 建之	橋本 山本(俊) 眞木 村上 勝山 赤本 岡田(章) 國正
地域力推進室	室長 片山 英之	まちづくり委員会	金田 長一郎	早瀬 久善	石川 久	福島 西村(憲) 黒瀬(光) 黒瀬(論) 平岡 有木
	副室長 片田 恭裕	心の教育推進委員会	松本 宏光	勝山 和昭	岡田 章裕	小林 尾島 眞木 薮木 鈴木 岡 藤本
		まつりプロジェクト	キャプテン 片田 恭裕	副キャプテン 田邊 久人	黒瀬 論隆	末澤 小林 山本(俊) 西村(憲) 西村(明) 流郷 薮木 黒瀬(光) 赤本 石川 岡田(章) 國正 鈴木 延原 平岡 松田 矢山 芦田 有木 岡 岡田(修) 小倉 藤本
実行委員会	創立60周年実行委員会		実行委員長 須江 庸司	副実行委員長 河野 雅樹 片山 英之 小笠原 翔太	眞木 祐治	片田 森山 保田 金田 松本 森元
	第66回岡山ブロック会員懇親野球大会実行委員会		実行委員長 福田 邦夫	副実行委員長 廣田 勤 片田 恭裕	矢山 香織	田邊 井上 村上 和田 早瀬 勝山 豊福

出向

(公社)日本青年会議所 JCブランディング会議
議員 片山

中国地区協議会 総務渉外委員会
委員長 廣田　委員長幹事 山本(俊) 平岡　委員 北村

岡山ブロック協議会
副会長 須江　副会長幹事 赤本 延原
総務委員長連絡会議 副議長 保田　議員 和田
未来の豪傑増強委員会 副委員長 村上　委員 森山
地域経済再興委員会 委員 金田 早瀬
全うな日本人育成委員会 委員 松本 勝山

全国城下町青年会議所連絡協議会
理事 福島

津山市市民憲章推進協議会
副会長 鳥越　事務局長 河野　事務局員 森山 保田 金田 松本 山本(俊)

一般社団法人 津山青年会議所
〒708－0022
岡山県津山市山下30－9
(津山商工会館内4階)
TEL:(0868)22－6713
FAX:(0868)25－1415

２０１７年度　(一社)津山青年会議所新会員名簿

区分	氏　　名	勤　務　先	役　　職
新加入者	芦田　雅嗣	㈲サシコー家具店	本店店長・販売促進部部長
	有木　聖人	ありき	取締役
	岡　　孝男	河井林産㈱	企画営業係長
	岡田　修委	津山信用金庫	支店長代理
	藤本　裕文	大進建設㈱	常務取締役

以上５名

２０１７年度　(一社)津山青年会議所
各室及び委員会・プロジェクト事業計画

会議・室・プロジェクト・委員会	内　　容
【活力ある「つやま」のあしたのために】 ビジョン推進会議	１．(一社)津山青年会議所の目的達成のための計画の統括管理及び実施推進 ２．【活力ある「つやま」のあしたのために】ビジョンの推進 ３．事業計画及び事業予算の検討調整 ４．各室間の連絡調整
第６６回岡山ブロック会員懇親野球大会実行委員会	１．第６６回岡山ブロック会員懇親野球大会の統括管理 ２．第６６回岡山ブロック会員懇親野球大会のＰＲ及び企画の推進 ３．中国地区協議会及び岡山ブロック協議会との連携及び企画の調整 ４．【活力ある「つやま」のあしたのために】ビジョン推進会議への参画
創立６０周年実行委員会	１．新ビジョン策定に関する調査・研究及び実施推進 ２．創立６０周年記念事業の統括管理 ３．創立６０周年記念式典及び祝賀会の企画・運営 ４．公益社団法人に関する諸問題の調査・研究及び検討 ５．【活力ある「つやま」のあしたのために】ビジョン推進会議への参画
総務拡大委員会	１．事務局の管理・運営及び掌握(専務理事への協力) ２．総会の運営及び総会資料の蒐集並びに理事会及び例会の議事録の作成及び保管・管理 ３．褒章及び表彰に関する事項 ４．定款・規約に関する事項 ５．(一社)津山青年会議所の組織に関する事項 ６．会員拡大に関する情報の総括及び実施推進 ７．日本ＪＣ、会員拡大に関する情報蒐集及び手法の実施推進 ８．入会、休会及び希望退会の受付並びに自動退会及び除名の取り扱い(専務理事への協力) ９．慶弔に関する事項 10．ＪＣボックスの管理 11．会員名簿の作成及び保管・管理 12．公益法人制度に関する事項 13．防災・減災・復旧に関する事項 14．他の会議体・委員会に属さない事項
人間力開発室	１．(一社)津山青年会議所の目的達成のための計画の立案及び実施推進 ２．人間力開発の啓発に関する事項 ３．津山市市民憲章推進協議会事務局の総括・運営 ４．「特定非営利活動法人つやまＮＰＯ支援センター」への参画 ５．人間力開発室に所属する各委員会・プロジェクトの企画調整 ６．会員拡大の実施推進 ７．創立６０周年実行委員会への参画 ８．第６６回岡山ブロック会員懇親野球大会実行委員会への参画 ９．【活力ある「つやま」のあしたのために】ビジョン推進会議への参画
地域力推進室	１．(一社)津山青年会議所の目的達成のための計画の立案及び実施推進 ２．津山圏域の歴史・伝統・文化に関する事項 ３．魅力ある地域力推進に関する事項 ４．国際化に関する諸問題への対応 ５．津山城を中心とした周辺市街地に関する情報蒐集及び調査・研究 ６．全国城下町青年会議所連絡協議会への参画 ７．「鶴山を考える会」への参画 ８．地域力推進室に所属する各委員会・プロジェクトの企画調整 ９．会員拡大の実施推進 10．創立６０周年実行委員会への参画 11．第６６回岡山ブロック会員懇親野球大会実行委員会への参画 12．【活力ある「つやま」のあしたのために】ビジョン推進会議への参画
まつりプロジェクト	１．津山圏域の祭事、まつりの調査・研究及び情報の発信 ２．つやま納涼ごんごまつり並びに津山まつりへの参画 ３．音楽祭に関する諸問題の調査研究及び関連団体、機関への参画 ４．『和っしょい！津山』に関する地域・行政・他団体への発信及び企画の推進 ５．地域力推進室の計画に基づく事業の推進 ６．広報に関して広報渉外委員会との連携 ７．会員拡大の実施推進 ８．創立６０周年実行委員会への参画 ９．第６６回岡山ブロック会員懇親野球大会への参画 10．【活力ある「つやま」のあしたのために】ビジョン推進会議への参画
会員指導力研修委員会	１．月例会の企画・運営統括及び通知の発行 ２．会員開発に関する事項 ３．会員及び委員会の表彰具申 ４．会員相互の友愛親睦及び体育厚生 ５．会員の指導力に関する調査及び魅力の発信に関する事項 ６．青年経済人としての会員の研修及び魅力の発信に関する事項 ７．新会員の研修に関する事項 ８．その他会員に関する一切の事項 ９．広報に関して広報渉外交流委員会との連携 10．人間力開発室の計画に基づく事業の推進 11．日本ＪＣ，中国地区協議会及び岡山ブロック協議会の委員会に関する事項 12．会員拡大の実施推進 13．創立６０周年実行委員会への参画 14．第６６回岡山ブロック会員懇親野球大会実行委員会への参画 15．【活力ある「つやま」のあしたのために】ビジョン推進への参画
広報渉外交流委員会	１．地域社会への広聴広報活動・情報交換及び交流に関する事業の推進 ２．地域・行政・他団体・各地ＪＣとの交流及び情報交換の実施推進 ３．渉外に関する事項 ４．対外的行事に関する会合の連絡及び通知の発行 ５．各地ＪＣの行事に関するメンバー参加の掌握及び参加の推進 ６．広報に関する事項 ７．マスコミ関係者及び記者クラブとの連携及びＰＲ推進 ８．(一社)津山青年会議所ホームページの活用・運用 ９．日本ＪＣ及び各地ＪＣとの意見情報の交換及び蒐集 10．ＪＣニュースの発行 11．人間力開発室の計画に基づく事業の推進 12．日本ＪＣ、中国地区協議会及び岡山ブロック協議会の委員会に関する事項 13．会員拡大の実施推進 14．創立６０周年実行委員会への参画 15．第６６回岡山ブロック会員懇親野球大会実行委員会への参画 16．【活力ある「つやま」のあしたのために】ビジョン推進への参画

まちづくり委員会	１．地域活性化のための諸問題の調査・研究及び事業の推進 ２．津山城を中心とした地域の発展に関する調査・研究及び情報の発信 ３．広報に関して広報渉外交流委員会との連携 ４．地域力推進室の計画に基づく事業の推進 ５．日本ＪＣ、中国地区協議会及び岡山ブロック協議会の委員会に関する事項 ６．会員拡大の実施推進 ７．創立６０周年実行委員会への参画 ８．第６６回岡山ブロック会員懇親野球大会実行委員会への参画 ９．【活力ある「つやま」のあしたのために】ビジョン推進会議への参画
心の教育推進委員会	１．青少年、教育の諸問題の調査・研究及び事業の推進 ２．地域社会の活性化に貢献できる地域人材の育成に関する事項 ３．福祉に関する諸問題の調査・研究及び情報の発信 ４．広報に関して広報渉外交流委員会との連携 ５．地域力推進室の計画に基づく事業の推進 ６．日本ＪＣ、中国地区協議会及び岡山ブロック協議会の委員会に関する事項 ７．会員拡大の実施推進 ８．創立６０周年実行委員会への参画 ９．第６６回岡山ブロック会員懇親野球大会実行委員会への参画 10．【活力ある「つやま」のあしたのために】ビジョン推進への参画
２０２０年の森プロジェクト	１．２０２０年の森のビジョンの調査・研究及び企画の推進 ２．２０２０年の森の管理・育成 ３．森の範囲の確認及び会員への啓発 ４．管理小屋・橘・広場の維持・管理及び整備・拡大の検討 ５．作業道の管理及び整備・拡大の検討 ６．タイムカプセルの管理及び会員への啓発 ７．鎌・巻物の管理 ８．人間力開発室の計画に基づく事業の推進 ９．広報に関して広報渉外交流委員会との連携 10．会員拡大の実施推進 11．創立６０周年実行委員会への参画 12．第６６回岡山ブロック会員懇親野球大会実行委員会への参画 13．【活力ある「つやま」のあしたのために】ビジョン推進会議への参画

一般社団法人 津山青年会議所 収支予算書

自２０１７年１月１日　至２０１７年１２月３１日

（単位：円）

科　目	2017年度	備考
Ⅰ　一般正味財産増減の部		
1．経常増減の部		
（1）経常収益		
受取入会金	**850,000**	
受取入会金	850,000	50,000×17名
受取会費	**7,350,000**	
正会員受取会費	7,200,000	150,000×48名
特別会員受取会費	150,000	150,000×1名
賛助会員受取会費	0	
事業収益	0	
登録料収益	0	
業務受託収入	0	
雑収入	0	
受取補助金等	0	
受取国庫補助金	0	
受取地方公共団体補助金	0	
受取民間補助金	0	
受取負担金	0	
受取負担金	0	
受取寄付金	**200,000**	
受取寄付金	200,000	JCボックス
募金収益	0	
雑収益	**525,067**	
受取利息	1,067	
その他雑収入	0	
津山市民憲章受託費	264,000	22,000×12ヶ月
OB会通信費	260,000	2,000×130名
経常収益計	**8,925,067**	
（2）経常費用		
事業費	**5,084,980**	
会場設営費支出	0	
人件費支出		
会場費支出		
設営費支出		
企画・演出費支出	0	
演出費支出		
本部団関係費支出	728,000	
設営費支出	0	
渉外費支出	728,000	県北4JC合同例会、岡山ブロック大会、岡山ブロック野球大会
講師関係費支出	0	
記念品代支出		
資料作成費支出	0	
作成費支出		
保険料支出		
雑費支出		
委員会運営費支出	4,356,980	

（単位：円）

科　目	2017年度	備考
管理費	**5,594,504**	
会議費	732,000	理事会、次年度理事会、例会、各種会議体会議費、例会活動費
役員報酬	0	
給料手当	2,370,000	
退職給付費用	0	
福利厚生費	0	
旅費交通費	0	
通信・発送費	400,000	電話代金等
消耗品費支出	200,000	
リース料支出	180,000	コピー機リース料
印刷製本費支出	599,500	報告書　名簿
光熱水料費支出	168,324	電気代（12ヶ月）
賃借料支出	454,680	事務局・ルームの家賃、商工会館公益費、JC倉庫の賃貸料
業務委託費支出	108,000	会計アドバイス料・ホームページ管理費・サーバーレンタル料・ドメイン更新料金
インフォメーション関係費支出	10,000	津山朝日新聞社
渉外費支出	272,000	
雑支出	100,000	
負担金支出	**721,520**	
JCI負担金支出	55,920	1,165円／名
日本JC負担金支出	270,000	日本JC会費30,000円、日本JC付加金5,000円／名
地区協議会負担金支出	48,000	1,000円／名
ブロック協議会負担金支出	96,000	2,000円／名
国際協力資金支出	87,600	1,825円／名
日本JC出向者負担金支出	20,000	20,000円×1名
We Believe購読料支出	144,000	3,000円／名
経常費用計	**11,401,004**	
評価損益等調整前当期経常増減額	0	
基本財産評価損益等	0	
特定資産評価損益等	0	
投資有価証券評価損益等	0	
評価損益等計	0	
当期経常増減額	**△ 2,475,937**	
2．経常外増減の部		
（1）経常外収益	0	
経常外収益計	0	
（2）経常外費用	0	
経常外費用計	0	
当期経常外増減額	0	
他会計振替額	0	
当期一般正味財産増減額	**△ 2,475,937**	
一般正味財産期首残高	**6,348,777**	
一般正味財産期末残高	**3,872,840**	
Ⅱ　指定正味財産増減の部		
当期指定正味財産増減額	0	
指定正味財産期首残高	0	
指定正味財産期末残高	0	
Ⅲ　正味財産残高	**3,872,840**	